

学位論文

題目 マルチリンガル雑誌『孔子学院』にあらわれた「中国」の多面性
－雑誌の内容分析を中心に－

指導教員 西山教行 教授

平成30年1月12日

京都大学大学院人間・環境学研究科
修士課程 共生人間学専攻

氏名 劉天嬌

論文要旨

共生人間学 専攻

氏名 劉天嬌

本研究の目的は、中国の国家主導により海外へ向けて刊行されているマルチリンガル雑誌『孔子学院』が文化記事により生み出している「中国」のイメージを解明することである。

雑誌『孔子学院』とは、中国が海外に向けて中国語や中国文化の普及政策を実施する「孔子学院プロジェクト」の出版する刊行物である。「孔子学院」に関する研究はすでに十数年間の蓄積があるが、中国語の教育事業などに関する研究に偏重し、出版事業への検討は行われていない。本研究はこれまでの「孔子学院」研究で重視されていなかった雑誌の出版事業を分析することにより、「孔子学院」研究を補完し、中国の海外発信メディアの活動を解明する。

本稿は、『孔子学院』の文化記事の言及傾向を計量分析の手法により、2009年から2017年にいたるまで世界各地で発行されてきた言語版すべてについて分析を試みた。

その結果、『孔子学院』の発信する「中国」とは、「四大発明を持つ悠久の文明を有する国」という従来のイメージではなく、むしろ現代の中国に力点を置くもので、多様な文化を持ち、様々な側面で著しく変化している「中国」社会を伝え、古典文化を継承しつつも、経済や社会などで前進する「中国」であることが判明した。

また、雑誌に見られる文化記事の内容構成は、主に自国の現状に対する認識と判断に基づくもので、中国が経済戦略を背景として、特定の国や地域への発信を重視する意図を持つことを読み取ることができた。

目次

0. はじめに.....	4
1. 先行研究－孔子学院プロジェクトに対する研究の現状.....	5
1.1 「孔子学院」研究の日本の論点.....	5
1.2 「孔子学院」研究の欧米の論点.....	6
1.3 「孔子学院」研究の中国本土の論点.....	7
2. 研究対象としてのマルチリンガル雑誌『孔子学院』.....	9
3. 雑誌『孔子学院』誕生の国家政策背景.....	10
3.1 中国文化の海外展開の政策過程.....	1
3.2 孔子学院プロジェクトの展開.....	12
4. マルチリンガル雑誌『孔子学院』の創刊.....	14
4.1 雑誌『孔子学院』の創刊経緯.....	14
4.2 雑誌『孔子学院』の主旨とジャンル.....	17
5. 雑誌『孔子学院』文化記事の実態.....	19
5.1 研究目的と研究手法.....	19
5.2 計量分析の枠組み.....	20
5.3 計量分析のデータ.....	21
6. 分析と考察.....	24
6.1 内容の集中傾向.....	24
6.2 内容の分散傾向.....	29
7. おわりに.....	40
8. 今後の課題.....	42
参考文献.....	43
謝辞.....	46
付録.....	47

0. はじめに

本研究は、『孔子学院』の文化記事を分析し、「中国」を海外へ発信する『孔子学院』が中国の何を描写し、何を発信し、どのような「中国」を海外に伝えるのかを分析し、その背後に存在する国家戦略を考察するものである。

『孔子学院』とは、中国の政府機関が主管するマルチリンガル雑誌である。この雑誌は中国教育部の支援を受け、世界各国に設立されている中国語教育機関である孔子学院の刊行物として孔子学院とあわせて世界各地の中国語学習者に中国を伝える役割を担っている。

『孔子学院』は中国文化の海外展開政策を具体化したもののひとつであり、本論文はここに見られる文化記事の内容分析により、そこで提示されている中国像を検討する。

本論文の構成は以下のようなになる。第1章において、孔子学院プロジェクトに関する先行研究を概観し、主要な論点をまとめ、孔子学院プロジェクトの雑誌出版事業の検討の必要性を論ずる。続いて、第2章において、国家主導の海外発信メディアとしての『孔子学院』の特徴を検討し、本研究の問題意識を明らかにする。第3章において、『孔子学院』を支える中国政府の文化海外展開政策を述べる。第4章で、雑誌の創刊主旨を紹介し、雑誌のジャンルを検討する。第5章から雑誌の文化記事の分析に入り、計量分析手法によりデータを示し、第6章ではデータに基づいて言及傾向を考察し、『孔子学院』が発信する「中国」を明らかにする。

1. 先行研究－孔子学院プロジェクトに対する研究の現状

第1章は、「孔子学院」研究が追求している課題を学術論文を通じて明らかにする。これらの論文は日本、欧米、中国本土で実施された研究の成果であり、それらの論点を代表的なデータベースによる論文検索によって抽出する。

1.1 日本における「孔子学院」研究の論点

国立情報学研究所の運営する論文情報ナビゲータCiNiiから「孔子学院」をキーワードとして検索し、その結果、122件の論文を検出した。その中で代表的な10本の論文について、日本に活動する孔子学院に関するこれまでの視点並びに代表的な三つの論点から整理する。

(1)現状の紹介として、孔子学院に関する初期の研究には、西川(2005)、大塚(2007)があるが、これらは孔子学院の設置に関する報告にとどまっている。李尚波(2009)は、孔子学院構想の成立の経過と日本国内の孔子学院について検討している。

(2)言語政策研究として、黒田(2006)は、中国の対外教育戦略の一環としての孔子学院プロジェクトの概要について触れている。日暮(2008)は、中国の対外言語教育政策について、対外教育政策の発展の経緯を概観したうえで、孔子学院プロジェクトの現状と課題を論じている。戴(2011)は孔子学院を取り上げ、文化外交と中国語普及との関連を分析している。侯(2011)は、対外中国語政策の現状と課題をまとめた上で、中国の対外言語教育政策に焦点を置き、孔子学院の正当性を論じている。さらに、馬場(2010)は、中国の国家プロジェクトの一環としての孔子学院の創立と普及の過程、日本国内の状況を分析し、中国語教育の立場から、中国のソフト・パワーの世界に対する影響という観点から分析している。

(3)教育事業の事例研究には、以下のものがある。大塚(2008)は、日本の立命館大学、韓国2校、シンガポール1校、そしてタイ2校の孔子学院を対象として現地調査を実施し、それぞれの運営形態や教育実態、活動内容について詳細に報告している。黒田(2010)は、中国の対外中国語教育政策の動向、特に米国における中国政府の中国語教育及び中国文化普

及施設を検証し、北米における孔子学院第1号のメリーランド大学孔子学院設立の経緯ならびに活動状況を検証している。

1.2 「孔子学院」研究の欧米の論点

欧米における「孔子学院」研究に関する調査は、人文社会や自然科学をはじめ、幅広い分野を網羅した学術的海外論文データベースであるEBSCOhostを情報源とし、2004年から2016年までのデータについて、“Confucius Institute”をキーワードとして検索した。その結果、雑誌61件、新聞9件、書評5件、学術専門誌33件、合わせて113件の関連文献が検出された。その中で、研究論文だけに注目し、代表的な26件の論文を抽出した。

研究の視点は分散しているが、主に孔子学院と外交、孔子学院とソフト・パワー、孔子学院と学術の自由、孔子学院設立の現地要因、孔子学院と経済貿易などの論点に分類することができる。さらに、これらの視点は主に二つの方向性を示している。つまり、孔子学院の海外への影響力に関する研究と孔子学院自身の発展に関する研究に分けられる。さらに、両方を総合的に分析する研究もある。以下の表1.にまとめてみる。（主要な研究タイトルは参考文献を参照のこと）

表1.「孔子学院」研究の欧米の文献の内訳

	孔子学院そのもの	孔子学院の影響力	総合
論文数	5	10	11

表1.を見ると、孔子学院自身に関する研究を除くと、ほぼ孔子学院の影響力に関する研究またその視点を持つ研究に集中しており、欧米の学者は自国における孔子学院の社会的、文化的影響力について関心を示していることが判明した。

1.3 「孔子学院」研究の中国本土の論点

次に「孔子学院」研究について中国国内の研究を検討する。中国学術情報データベースであるCNKIを情報源にし、「孔子学院」をキーワードとして、中国本土の研究者の学術論文情報を検索したところ、231件の論文を検出した。これらの論文は4つの論点に分類することができる。

(1) 中国語教育研究：教授法、教員養成、教材開発などが含まれる。

(2) 孔子学院そのもの：孔子学院発展の特徴、発展の現状と問題分析などが中心である。

(3) 比較研究：孔子学院とアリアンスフランセーズなど他国の海外言語普及機関との比較研究である。

(4) 中国対外政策との関連研究：孔子学院と中国の外交、孔子学院とソフト・パワーなどを含む。

それぞれの論点に該当する論文をまとめると次のようになる。（主要な研究タイトルは参考文献を参照のこと）

表2. 「孔子学院」研究の中国本土の文献の内訳

	比較研究	孔子学院そのもの	中国語教育研究	中国の対外政策との関連研究
論文量	16	71	104	40
比例	6.9%	30.7%	45%	17.3%

表2.で示すように、孔子学院に関する中国語教育研究が最も多く、これが中国本土における孔子学院に関する研究の主な論点を構成している。

以上の先行研究から、「孔子学院」に関する研究は、地域や国にまたがる共通の視点が多く、孔子学院そのものの組織のメカニズムや運営、事業の一つである中国語教育、孔子学院を通じてソフト・パワーや外交、中国の対外言語政策との関連性が主な論点となって

いる。中国本土以外では、孔子学院に対する認知度が限られているために、孔子学院の基礎的な情報の提供にとどまる研究が多く、また孔子学院が自国に対して行使する政治的、経済的影響力に注目が集まりやすい。中国本土の研究はこれらの研究と共通性があることに加えて、他国の言語普及機関との比較研究といった運営体制などに関する研究に留まっている。

しかし、孔子学院プロジェクトの事業への検討は海外でも中国本土でも視点が限られている。すなわち、中国語教育事業への研究に偏重し、他の事業、特に雑誌出版事業の検討は見られない。実のところ、孔子学院の雑誌出版事業は中国の対外文化戦略、すなわち中国の文化海外展開と深く関連しており、雑誌『孔子学院』は孔子学院と共に海外に対する中国のイメージ作りで重要な役割を担っている。『孔子学院』がどのような「中国」を海外の人々に伝えているか、また伝えている表象の背後にある中国の戦略的狙いは何かを知る必要がある。

2. 研究対象としてのマルチリンガル雑誌『孔子学院』

中国の対外発信活動は孔子学院や雑誌『孔子学院』だけでなく、孔子学院プロジェクトの実施されるはるか以前から進められてきた。1941年に開設した国営中国国際放送（CRI）¹と1981年に創立した国営中英バイリンガル新聞紙の中国日報（China Daily）²は外国人に向けて中国を伝える代表的なメディアである。しかしながら、不特定多数の人々に発信するマスメディアに比べて、雑誌『孔子学院』は海外の中国語学習者や中国関係者など特定の階層に向けて発信したもので、対象は同一ではない。また、雑誌は内容の連続性やテーマの柔軟性、体系的、広さと一定の深さを確保でき、学習者の投稿欄を設けていることから、学習者とコミュニケーションを取ることができる。また読者に近い距離から伝えるというメリットもあるため、海外の読者を想定した形態であると言えよう。

これまでの孔子学院プロジェクトに関する研究は、先行研究が示したように、孔子学院の事業内容の検討や中国語教育事業にとどまるもので、他の事業への考察が不足している。そこで、本研究は孔子学院プロジェクトの雑誌『孔子学院』の出版事業を検討し、孔子学院プロジェクトに関する研究の補完を目指したい。雑誌『孔子学院』は中国政府の教育部の管轄に置かれ、中国政府が唯一のスポンサーであることから、中国の国家主導の文化発信活動を分析する好例である。

孔子学院に関する研究では、中国語教育以外の事業が見過ごされやすい。言語と文化の推進を掲げる孔子学院は、中国語研究や文化交流イベント、雑誌『孔子学院』の出版、中国語・中国文化講座など様々な事業を実施しており、中国語を学ぶだけでなく、中国文化を体験し、中国語を知ることができる」と主張している。しかし、文化交流イベントや中国語・中国文化講座には、伝統的な中国に関する企画が多い。一方で、雑誌『孔子学院』は

¹ CRIホームページ CRIの歴史<http://www.cri.com.cn/events> 2017/12/19参照

²中国日報ホームページ 关于我们 http://www.chinadaily.com.cn/static_c/gyzgrbwz.html 2017/12/19参照

現代中国を学習者に伝えるための重要な役割を果たしている。雑誌『孔子学院』は孔子学院が行う教育事業などと連動して、多角的に中国を紹介する役割の一役を担っている。マルチリンガル体制により刊行されている『孔子学院』は国や地域によって編集方針や内容を変えながら様々な地域や国に異なる「中国」を伝えている。そこでその発信戦略を解明したい。

3. 雑誌『孔子学院』誕生の国家政策背景

中国は1970年代から、改革開放政策のもとに経済の高度成長を遂げた。2001年に世界貿易機構（WTO）に加盟後、中国は国力の増進を巨大な経済市場にたよるばかりでなく、文化強国の構築を急務と考えるようになり、国際社会における中国のイメージの向上を政策課題として掲げるようになった。

3.1 中国文化の海外展開の政策過程

中国文化の海外展開（go overseas、中国語で「走出去」）は中国の対外文化戦略を指す用語である。

この海外展開を国家政策として進めるために中国政府は二段階を踏んだ。これは江沢民元中国国家主席が発想し、江の後継者である胡錦濤が理念を継承し具体化し、国家戦略として進めた。

中国は鄧小平時代以降、改革・開放政策を進め、江沢民時代に入ってからグローバル化の加速する中で国際社会との関わりを強め、国際社会に影響力を行使し始めた。2002年11月、江沢民は中国共産党第十六回全国代表大会で『ゆとりのある社会の全面的な建設、中国の特色のある社会事業の新局面の建設について』³と題する報告を行い、「「走出

³中国共産党新聞網 中国共産党例年全国代表大会データベース<http://cpc.people.com.cn/GB/64162/64168/64569/65444/4429123.html> 2017/12/19参照

去」⁴（送り出し）戦略は対外開放の新段階となる重要な施策である、「引进来」⁵（受け入れ）と「走出去」（送り出し）を同時に進行すべく、対外開放のレベルアップを図るべきである。現代世界は、文化と経済、政治が緊密に融合し、文化の役割は総合的な国際競争の中でますます大きくなっている。文化の力は民族の生命力や想像力、結束力の中に潜んでおり、党幹部は文化建設の戦略意義を深く認識し、社会文化の発展と繁栄に協力すべきである」と演説した。

江沢民は、この発言において文化力の戦略的重要性を強調した。その後、胡錦濤政権に入り、2007年2月、当時の温家宝総理は「社会主義初期段階の歴史的任務と我が国の対外政策に関する幾つかの問題」⁶と題する演説の中で、中国文化を続々と「走出去」（送り出し）するためには、様々な形式や手法を活用し、巡回公演、巡回展示、中国語教育、学術交流、文化年などが必要であると強調した。同年10月、胡錦濤総書記は、北京人民大会堂で開催された第17回党大会報告で、社会主義文化の発展と繁栄の推進のため、国家の「文化のソフト・パワー」⁷の向上の必要性について訴えた。

2011年10月、北京で開催された中国共産党第17期中央委員会第6次全体会議では、「文化体制改革の深化による社会主義文化大発展、大繁栄の推進に関する若干の重大問題の決定」⁸が審議され、文化強国をめざす国家戦略が明確に示された。同年に公布された「国

⁴ 「走出去」（送り出し）は中国企業の海外投資の経済面と文化の海外展開の文化面の両方を意味する。

⁵ 「引进来」（受け入れ）は主に外資、海外の先進技術、海外の優秀人材を受け入れることを意味する。

<http://history.mofcom.gov.cn/?datum=中国商務部「实施引进来和走出去相结合的开放战略」> 2017/12/19参照

⁶ 中国共産党新聞 高層動態 <http://cpc.people.com.cn/GB/64093/64094/5418168.html> 2017/12/19参照

⁷ 胡錦濤が党十七回大会における講演 全文http://www.chinadaily.com.cn/hqzg/2007-10/25/content_6205616_7.htm 2017/12/19参照

⁸ 中国政府網 http://www.gov.cn/jrzg/2011-10/25/content_1978202.htm 2017/12/19参照

家第12次5カ年計画」⁹では、「国家のソフト・パワーを強化すること」が強調されている。

ソフト・パワーとは、1990年に米ハーバード大学ケネディスクールの安全保障問題の専門家ジョセフ・S・ナイが提唱した概念である。ナイは、同年に出版した『不滅の大国アメリカ』¹⁰の中で、時代の変化と共に力の重要な源泉も変化することを説明し、この概念を用いている。そこでのソフト・パワーとは「自らの目標達成のために非強制的な手段と非利益的な誘導を通じ、文化の感化力、価値観の求心力、外交政策の合理性と道義性を持って他人を感化する能力を指している。」(p.14) ソフト・パワーの概念は中国で極めて重視され、中国は文化政策を国家戦略として重視し、政府主導のソフト・パワーにより中華文化の強化を目指そうと試みており、孔子学院プロジェクトはその典型である。

3.2 孔子学院プロジェクトの展開

以上のような文化の海外発信政策のもと、中国では様々な文化対外発信の試みが始まった。その中の柱のひとつに中国教育部（日本の文部科学省に相当する）所管の孔子学院プロジェクト¹¹がある。

中国教育部は 2002 年から世界の大学生を対象にした中国語コンクール「漢語橋」¹²(中国語架け橋)をスタートさせ、これを機に、中国語教育の本格的な海外発信を始めた。また、中国語や中国文化の普及を国策として積極的に展開するため、対外文化施設の設定に

⁹国民经济和社会发展第十二个五年规划纲要（全文第十篇）http://www.gov.cn/2011lh/content_1825838.htm
2017/12/19参照

¹⁰ ジョセフ・S・ナイ、久保伸太郎訳『不滅の大国アメリカ』（読売新聞社、1990年）p.14.

原作 Nye Joseph S. Jr. (1990) *Bound to Lead: The Changing Nature of American Power*. Basic Books

¹¹ 孔子学院プロジェクトとは、2004年に中国政府が中国語教育の国際化の推進と中国文化の紹介のために立ち上げた国家プロジェクトである。

¹² 国家汉办官网－关于汉语桥http://www.hanban.edu.cn/chinesebridge/node_7489.htm 2017/12/19参照

に向けた検討が教育部の直属事業単位である「国家漢弁」¹³により進められ、2003年に「孔子学院」構想がまとめられた。

2004年に教育部が公表した「2003-2007年教育振興行動計画」¹⁴は、教育の対外開放の拡大を重点施策の一つとして位置づけるもので、異文化圏への中国語の普及拡大をめざす「漢語橋プロジェクト」は国の対外言語政策プロジェクトとして提示されている。「孔子学院」はこの「漢語橋プロジェクト」の中心的政策であり、国務院の合意を受けて2007年5月に通知された教育部制定の「国家教育事業発展“十一五”規画綱要」¹⁵において、中国語の国際普及活動の強化のために、国家政策として孔子学院の建設を加速する方針が改めて示された。

「孔子学院」とは、中国教育部、及び中国国家漢弁/孔子学院本部による直接の支援を受けた中国語の教育機関であり¹⁶、思想家・教育者・哲学者として世界的に有名な孔子の名をとり、世界各国に設立されている。これは、中国語教育と中国文化の普及を目的として、海外の大学や教育機関と連携して運営される非営利の教育機関であり、2007年には、北京の「国家漢弁」¹⁷の所属下で「孔子学院本部」が設置され、本部事務局の機能を果たしている。そして国家漢弁の仲介のもとに海外の大学と中国の大学が協定を結び、中国と

¹³中国国家漢弁ホームページより<http://www.hanban.org/hb/> 2017/12/19参照

国家漢語国際普及指導グループ（略称：国家漢弁）、中国教育部の傘下にある世界に中国語言語文化教育リソースやサービスを提供する事業機関である。

¹⁴教育部官网 2003-2007年教育振興行動計画 第十一项：进一步扩大教育对外开放http://old.moe.gov.cn/publicfiles/business/htmlfiles/moe/moe_177/200407/2488.html 2017/12/19参照

¹⁵中国政府网 中国十一五规划纲要 第七篇 实施科教兴国战略和人才强国战略http://www.gov.cn/ztl/2006-03/16/content_228841.htm 2017/12/19参照

¹⁶桜美林大学孔子学院ホームページ http://www.obirin.ac.jp/kongzi/introduction/about_kongzi/index.html 2017/12/19参照

¹⁷ 前掲注13.

相手国の教育機関が協力校として共同運営¹⁸するパターンが基本となっている。2004年にソウルに「孔子学院」第一号が設立されて以降、短期間に次々とアジアやアフリカ、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニアの各地に開設が進んだ。日本にも2005年に立命館孔子学院¹⁹が第一号として開設され、その後各地で開設が進み、現在のところ日本では14校の孔子学院と8校の孔子学堂がある²⁰。世界各地の「孔子学院」では、中国語講座、中国文化講座のほか、国家認定の中国語能力認定試験のHSK(漢語水平考試)の実施や中国語教員の養成、文化交流イベント、同名のマルチリンガル雑誌『孔子学院』の出版等が行われ²¹、これらは中国の対外教育文化政策の中で中国文化発信の大きな柱となっている。

4. マルチリンガル雑誌『孔子学院』の創刊

4.1 雑誌『孔子学院』の創刊の経緯

雑誌『孔子学院』²²は孔子学院プロジェクトの一部として、2009年から刊行された。『孔子学院』は中国教育部が主管し、孔子学院本部・国家漢弁が創刊するもので、編集長は孔子学院総責任者・中国国家国務院参事の許琳である。この雑誌は2009年に中国語と英語のバイリンガル版が創刊され、2010年7月から中露版、中仏版、中タイ版、中韓版、中日版、中西版、中阿版、中葡版、中伊版、中独が発刊され、現在のところ11言語のマルチリンガル雑誌となっている。各言語版ごとに異なる編集内容を確保するため、それぞれの孔子学院には海外編集室が設置され、北京の孔子学院本部の総編集部がそれらを統括する

¹⁸ 本文の孔子学院開校手続きの部分は「孔子学院章程」に基づくhttp://www.hanban.edu.cn/confuciousinstitutes/node_7537.htm 2017/12/19参照

¹⁹ 立命館孔子学院ホームページ 立命館孔子学院の略歴 <http://www.ritsumei.ac.jp/confucius/about/background/> 2017/12/19参照

²⁰ 国家漢弁ホームページ 孔子学院の世界分布http://www.hanban.edu.cn/confuciousinstitutes/node_10961.htm 2017/12/19参照

²¹ 孔子学院雑誌ホームページよりhttp://www.hanban.edu.cn/hb/node_7445.htm 2017/12/19参照

²² 前掲注21.

体制を取っている。『孔子学院』編集部は内容の統括や予算支援を担当し、各国の編集室が雑誌を執筆し編集している。

海外には、早稲田大学孔子学院日本語版編集室、チューラーロンコーン大学孔子学院タイ語版編集室、サンクトペテルブルク大学孔子学院ロシア語版編集室、カイロ大学孔子学院アラビア語版編集室、ポワティエ大学孔子学院フランス語版編集室、バレンシア大学孔子学院スペイン語版編集室、韓国外国語大学孔子学院韓国語版編集室、サンパウロ大学孔子学院ポルトガル語版編集室、ライプツィヒ大学孔子学院ドイツ語版編集室、ローマ大学孔子学院イタリア語版編集室が設置されている。雑誌は隔月刊で、11言語の紙版とデジタル版が同時に刊行され、一言語版は年間に6回、現在140の国や地域に向けて発行されている。雑誌『孔子学院』ホームページ²³によれば、全世界で20万冊が発行され、5000万人の学習者に届けられている。対象は孔子学院の受講生、中国語・中国文化の愛好者、現地政府、大使館、中外姉妹校、図書館などである²⁴。

雑誌の紙版は主に各国の孔子学院図書室や現地の大学図書館、対象国の中国大使館などに無料提供され、電子版は国家漢弁・孔子学院総本部ホームページにpdf版、またアップル版とアンドロイド版の「孔子学院」(Confucius Institute) appが用意され、コンテンツを無料でダウンロードでき、すべての人に開放されている。

図1.は、孔子学院年度発展報告データベース²⁵に公表された孔子学院プロジェクト年間支出から、雑誌『孔子学院』の出版と発行に使う予算をまとめたグラフである。孔子学院年度発展報告は2004年の孔子学院の発足以降、毎年公表されている。雑誌『孔子学院』に関わる予算データは2009年の雑誌の創刊から提示されており、直近のデータは2016年である。

²³ 前掲注21.

²⁴ 前掲注21.

²⁵ 国家漢弁孔子学院年度発展報告データベース <http://www.hanban.edu.cn/report/index.html> 2017/12/19
参照

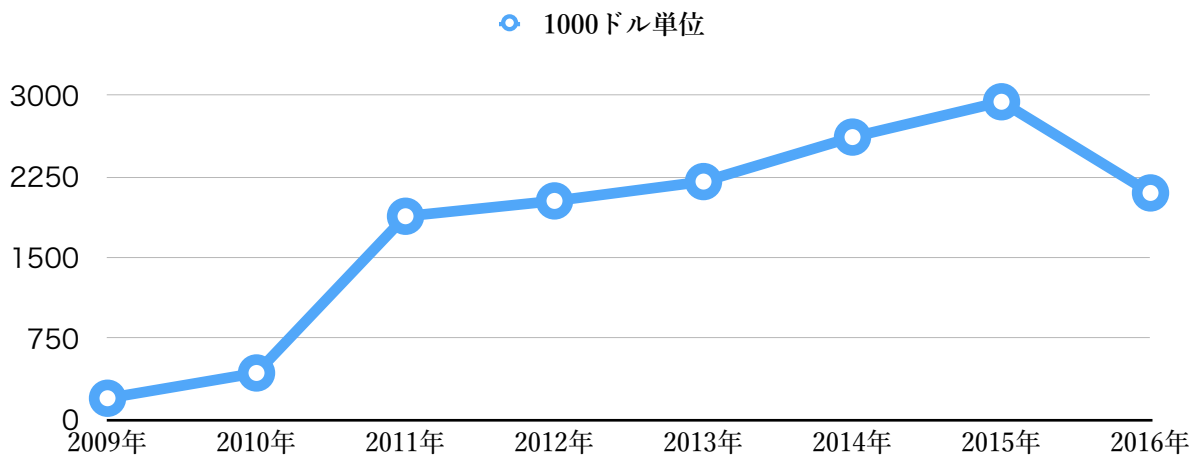


図1. 孔子学院プロジェクトの雑誌出版の予算の増減²⁶

図1.が示すように、雑誌『孔子学院』は2009年に創刊され、本部から孔子学院プロジェクトへの資金の流れで雑誌『孔子学院』への支出は毎年増加の傾向にある。雑誌『孔子学院』が、孔子学院プロジェクトの重要な出版物として海外発信戦略の中で「中国を説明する」ための重要な道具であるとの認識が管理部門の中でますます増大しているようだ。

4.2 雑誌『孔子学院』の主旨とジャンル

次に雑誌『孔子学院』の主旨を検討する。発刊の主旨に関して、国務委員で孔子学院総本部理事長の劉延東は中英版発刊の辞にて、「『孔子学院』シリーズは中国人民と中国語、中国文化を好む各国の人々の心の橋、情報の橋になるよう」²⁷述べており、『孔子学院』を中国文化や中国事情を発信するチャンネルと位置付けている。

中日版の雑誌広告を見ると「雑誌『孔子学院』を読めば、中国語のレベルアップはもちろん、現代中国を手にとることができる」²⁸と提示し、雑誌『孔子学院』は現在の中国の様々な動向を読者に伝えることに重点を置いている。

²⁶ 前掲注25.

²⁷ 前掲注21.

²⁸ 雑誌『孔子学院』中日版 雑誌広告紙面

このように、雑誌『孔子学院』は海外へ中国を伝えることを大きな役割としており、文化や言語、リアルな中国情報を海外に発信することにより中国語学習者が中国への親近感を増やし、中国との絆を深めていくことを狙いとしている。

次に雑誌『孔子学院』のジャンルについて検討する。雑誌は主に、孔子学院に関するニュース、言語・文化記事の二つの部分から構成されている。中日版の2010年第1期から現在の2017年第41期までの41冊をサンプルとして、雑誌の中から二つの種類の記事が占めるページ数を次の図2のようにまとめた。雑誌一冊の総ページ数は変わらない。

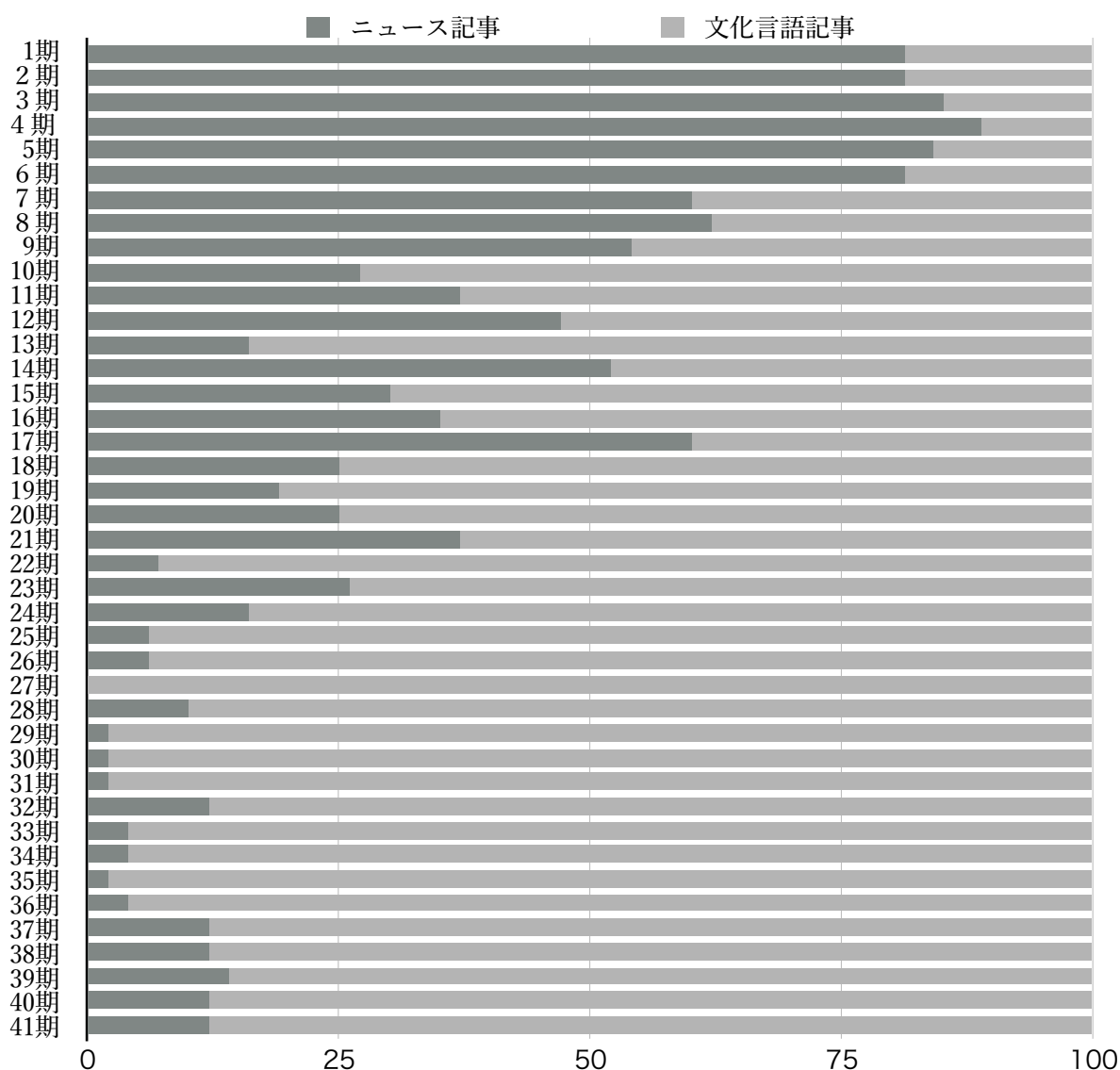


図2. 雑誌『孔子学院』の記事の内訳

2012年第10期まではニュースなどの記事が過半数を占めており、言語文化に関する記事のおよそ4倍の量を占めている。第10期から直近の第41期までは言語文化に関する記事が増え、ニュースに関わる記事を圧倒している。

これを見ると、雑誌『孔子学院』は創刊当初、孔子学院に関するニュースを海外各国の孔子学院の教員を始めとする孔子学院関係者らに情報提供することを重視していたが、次第に中国語学習者を対象とした言語文化の発信へと転換していることがうかがえる。第10期から次第に言語文化学習雑誌の性格が明らかになっており、雑誌『孔子学院』は対外中国文化発信のチャンネルとして全世界に広がる孔子学院同士のコミュニケーションをはかり、中国語学習者に中国、特に現代の中国を伝えるメディアとして位置付けられるようになった。

5. 雑誌『孔子学院』における文化記事の実態

本稿は雑誌『孔子学院』の文化記事を研究対象として扱う。ここでの文化記事とは主に、中国の文化を始めとする様々な情報を取り扱う記事を指す。雑誌『孔子学院』の記事は孔子学院ニュースと言語・文化学習記事に分類することができる。そして、言語・文化学習記事は文化記事、中国語学習コラムに分類することができる。ニュース記事は各国に設置された孔子学院のイベント情報、中国国家幹部の孔子学院への訪問情報などに関する記事であり、各国に勤務する孔子学院関係者の情報共有のためである。文化記事と中国語学習コラムは学習者に向けた情報で、中国語学習コラムには中国語能力試験（HSK）の練習問題や中国語の流行語の紹介、中国語文法の解釈、クロスワードパズルなどが設けられている。雑誌『孔子学院』はこのように孔子学院関係者向けと学習者向けの二部から構成されている。この二部の記事の比率は図2.で示したように、学習者に向けた記事が一冊の中で占めている割合は毎年増加の傾向にあり、2012年から雑誌の中心となったが、中国語学習コラムのページ数は依然として一冊に3ページと変わりはない。しかし、孔子学院

ニュースのページ数は減少するとともに、文化記事のページ数は拡充し、文化記事が次第に雑誌の中心となっている。

5.1 研究目的と手法

本論文の研究目的は、『孔子学院』の文化記事の実態を計量的分析によって把握することである。また実際の文化記事を取り上げ、中国に関する視点と記述をより詳しく検討する。

5.2 計量分析の枠組み

本研究が用いる計量分析手法はジャンル別比較である。計量分析手法のメリットは、メディアの内容を数値化し、比較検討を行いやすくする点にある。そこで、雑誌『孔子学院』の11言語版の直近までの文化記事を幾つかのジャンルに分けて、今日における全体的な傾向の分析を行う。

ジャンル別比較においては、言語文化学習雑誌の内容を配慮し、言及分野に関する全般的な特徴を把握するために、テーマを幾つかのジャンルに分けてコーディングシートを作り、該当テーマのページ数を計算した。ジャンルを作るにあたり、雑誌のテーマが豊富なことから、内容をすべてカバーするため、上位分類をなるべく網羅的に設定した。さらに、分析の精度を高めるため、できるだけ上位分類の中で下位分類を細かく設置した。テーマ別コーディングシートの項目は、雑誌自体のコラム構成(付録1)と『ヨーロッパ言語共通参照枠』(5.1.1.2)の社会文化的知識(付録2)を参照しながら作成した。

『ヨーロッパ言語共通参照枠』の社会文化的知識という枠組みは、高級文化から日常文化に至るまで様々な次元の文化を分割して分類することではなく、融合するような分類の枠組みである。また特定の社会集団をモデルとして作り上げたものではなく、中立的な指標でもある。このことから文化に関わる表象から社会の特性を理解していく分類の手法と、雑誌の中で取り上げた中国に関する表象を分類し、その表象から「中国」像を形成する問題意識は合致することから、この枠組みを参照することになった。

雑誌『孔子学院』の11言語版の文化記事を五つの上位分野に分類し、一冊の中で各分野の該当内容が占めているページ数の全体に対する割合を表4.のテーマ別上位分類でまとめた。またそれぞれの下位分類に属する内容のページ数が一冊の中で占めている割合を言語版ごとのデータとしてまとめ、表5.のテーマの下位分類にまとめた。ページ数の割合に応じてデータを算出するのは、雑誌製作の工程²⁹の企画段階では、どの内容を取り上げるかとその内容に当てるページ数を決めるため、ページ数の計算が編集意図を最も反映できるためである。そこでデータの精度を高め、雑誌の編集意図を最大限に尊重するためにページ数を計算し、データとしてまとめた。

取り扱う雑誌は2009年創刊時から、2017年に入手可能な時期までの11言語版で、およそ396冊にのぼる。言語版ごとの明細は下記の表3にまとめる。

表3. 言語版別雑誌数の内訳

(言語版によって資料収集の都合上、一部入手できなかった号も存在しているという点を付記しておきたい)

中日	中韓	中英	中仏	中露	中伊	中タイ	中西	中独	中阿	中葡	合計
42	40	52	40	39	19	41	40	21	42	20	396

分析に当たっては、以下のような項目について言語版ごとに文化記事の内容をまとめ、収集した雑誌の文化記事の全ページ数に対する該当項目の総ページ数の割合を算出した。

²⁹ 雑誌製作の基本の工程は、企画－執筆－編集－入稿－校正－印刷－製本の順番で行われる。

計量分析のコーディングシート

<雑誌文化記事について：ジャンル別比較用> 言語版にまたがるテーマ

(1) テーマの上位分類

1、中国の今 2、伝統 3、地域 4、飲食 5、絆

(2) テーマの下位分類

11、中国人 12、中国産業 13、中国社会（以上が上位分類の”1、中国の今”の下位分類、以下同様）

21、祝日（民俗も含む） 22、芸術（音楽、造形、文学、演劇など） 23、少数民族 24、歴史（歴史人物や歴史上の出来事） 25、礼儀 26、価値観・信条（国民意識） 27、信仰

31、省・都市 32、観光名所 33、少数民族地域 34、特定ゾーン（国家政策と関連する地域を指す）

41、食事（411、地域料理 412、祝日料理 413、料理の比較 414、中国料理一般（中国料理の主な特徴、飲食マナーなど） 42、飲み物

51、人物インタビューや紹介 52、文化交流、比較 53、華僑・華人・越境民族

5.3 計量分析のデータ

まず、全体の傾向を把握するジャンル別比較を実施するために、雑誌を言語版ごとに幾つかのジャンルに分け、適宜その内容やコンセプトの特徴にも留意し、言語版の比較を行った。

雑誌の文化記事を「1.中国の今」、「2.伝統」、「3.地域」、「4.飲食」、「5.絆」という5つの分類項目に分類し、それぞれ該当するテキストのページ数が全ページ数の中で占める割合を言語版ごとに計算し、表4にまとめた。また、下位分類には18個の項目を配置し、収集した文化記事の総ページ数の中でそれぞれの該当項目の記事のページ数の占める割合を言語版ごとに計算し、表5にまとめた。さらに、表5に基づいて、各上位項目の中で下位項目同士のページ数が上位項目の総ページ数に占める割合を上位項目ごとに計算し、表6、表7、表8、表9、表10にまとめた。

表4.マルチリンガル雑誌『孔子学院』の構成（テーマの上位分類）

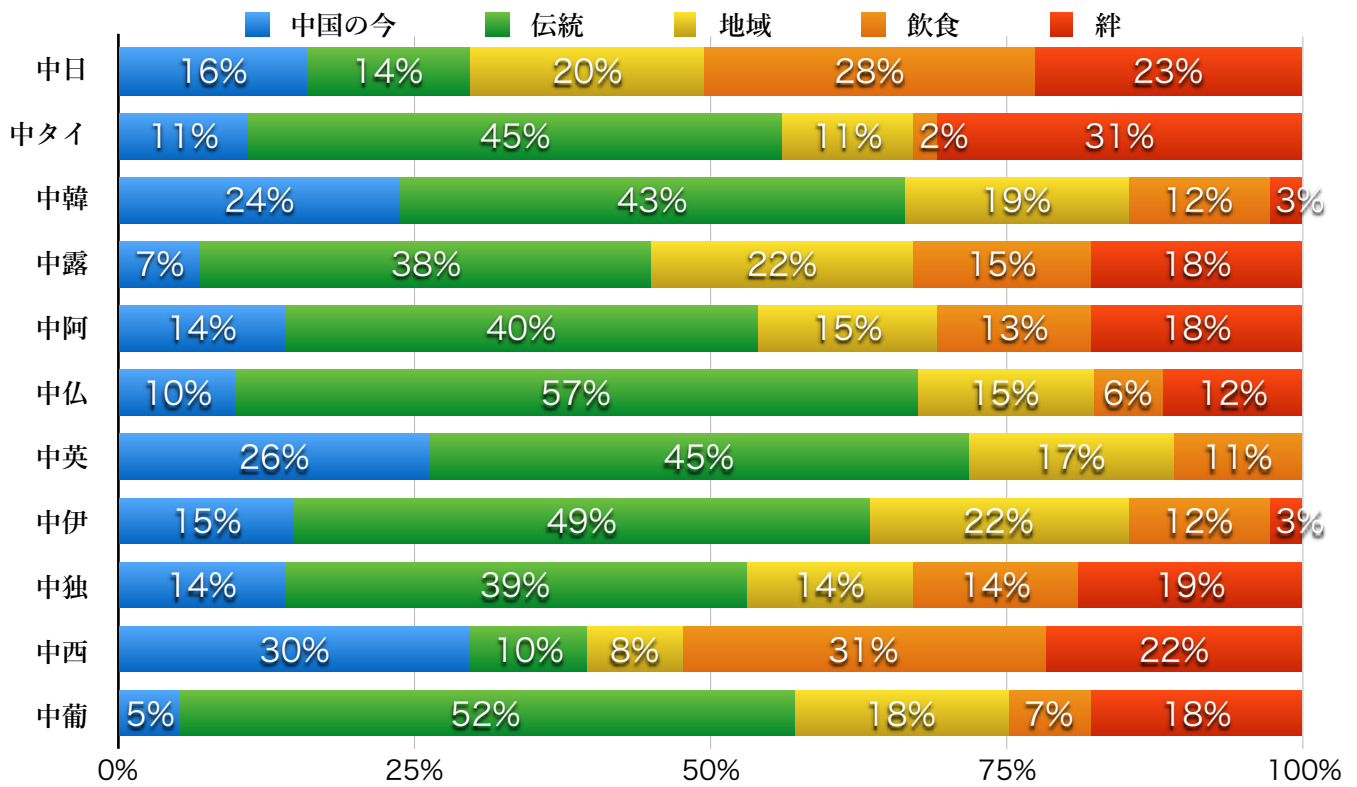


表5.マルチリンガル雑誌『孔子学院』の構成（テーマの下位分類）

上位分類	下位分類	中日	中タイ	中韓	中露	中英	中仏	中伊	中葡	中独	中阿	中西
中国の今	中国人	6.8%	4.7%	7.1%	4%	7.5%	3.1%	2.6%	2.7%	1.4%	4%	3.5%
	中国産業	4.9%	3.9%	2.7%	2.9%	4.7%	3.1%	0%	4.1%	12.2%	6%	1%
	中国社会	4.4%	2.3%	14.3%	1.7%	14.2%	3.1%	12.8%	8.1%	16.2%	7.2%	1%
伝統	祝日	2.4%	2%	0.9%	0%	6.6%	1.9%	7.7%	8.1%	1.4%	3.6%	3.5%
	芸術	15%	16.4%	30.4%	42.5%	18.9%	36.6%	21.1%	24.3%	6.8%	22.4%	25%
	少数民族	2.4%	1.2%	0%	2.9%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	3%
	価値観・ 信条	3.8%	18.4%	1.8%	0%	4.7%	2.8%	7.7%	4.1%	0%	4.4%	4%
	歴史	0%	40%	2.7%	0%	6.6%	0.9%	2.6%	5.4%	1.4%	5.2%	10%
	礼儀	0%	2.3%	0.9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.4%	0%
	信仰	0%	2%	2.7%	0%	0.9%	2.3%	0%	0%	0%	3%	2.5%
地域	省・都市	8.3%	4.3%	2.7%	9.2%	3.8%	1.9%	0%	13.5%	0%	6%	6.5%
	観光名所	8.7%	6.6%	16.1%	13.5%	14.2%	11.3%	7.7%	5.4%	5.4%	8%	21%
	少数民族 地域	1.9%	1.2%	0.9%	0.6%	0.9%	1.9%	2.6%	0%	2.7%	0.4%	0.5%
	特定ゾーン	1.5%	0.4%	0.9%	0%	0.9%	0%	5.1%	1.4%	0%	2.8%	1%
飲食	食事 地域料理 10.2%	0.8%	4.5%	4%	5.7%	0.9%	10.3%	2.7%	14.9%	4.8%	4%	
	祝日料理 1.5%	0.4%	0%	1.7%	0.9%	0.5%	0%	1.4%	2.7%	1.2%	0.5%	
	中国料理一般 0.9%	1.6%	7.1%	3.4%	4.7%	4.2%	5.1%	8.1%	8.1%	9.2%	2.5%	
	料理比較 1.5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
	飲み物	3.9%	40%	0.9%	8%	0.9%	0%	2.6%	2.7%	5.4%	0.8%	1%
	人物インタビュー や紹介	2.9%	21.1%	1%	1.7%	0%	2.3%	5.1%	2.7%	20.3%	0.4%	2%
絆	文化交流、比較	22.3%	8.2%	4.5%	4%	0%	16%	2.6%	1.4%	0%	3.2%	5.5%
	華僑・華人・越境 民族	0%	1.2%	0.9%	0%	0%	1.4%	5.1%	2.7%	0%	0%	0%

6. 分析と考察

まず、ジャンル別比較の結果をもとに、『孔子学院』に見られる文化記事の全般的な特徴をまとめておこう。

6.1 内容の集中傾向

文化記事は一見すると豊富な内容と多様なジャンルを取り扱っているが、じつは共通性がある。

まず、文化記事は主に「1.中国の今」、「2.伝統」、「3.地域」、「4.飲食」、「5.絆」の五つの分野に集中し、この傾向は11言語版に共通している。つまり、内容自体は海外の編集室に任せ、現地化を図っているが、雑誌全体の企画は統一しているのだ。

また、上位分類に従って比較した表4を見ると、11言語版のほとんどで「2.伝統」に関する内容が最も充実している。「2.伝統」のページ数が中タイ版の45%、中韓版の43%、中露版の38%、中阿版の40%、中仏版の57%、中英の45%、中伊の49%、中独版の39%、中葡版の52%を占めており、全体のほぼ半分に達し、ページ配分から見ると他の項目を圧倒しており、文化記事のメインテーマは「2.伝統」であることが判明する。

さらに、表5の言及分野の下位分類を見ると、さらに集中的な傾向ははっきりと表れる。上位分類の「2.伝統」は、下位分類における「21.祝日」、「22.芸術（音楽、造形、文学、演劇など）」、「23.少数民族」、「24.価値観・信条（国民意識も含む）」、「25.歴史（歴史人物や歴史上の出来事）」、「26.礼儀」、「27.信仰」の7つに対応している。また、表5の「2.伝統」の下位分類のデータだけを抽出して、7つの下位分類が各言語版の中で占めている割合を各言語版ごとに試算し、得られたデータを図3.にまとめると次のようになる。

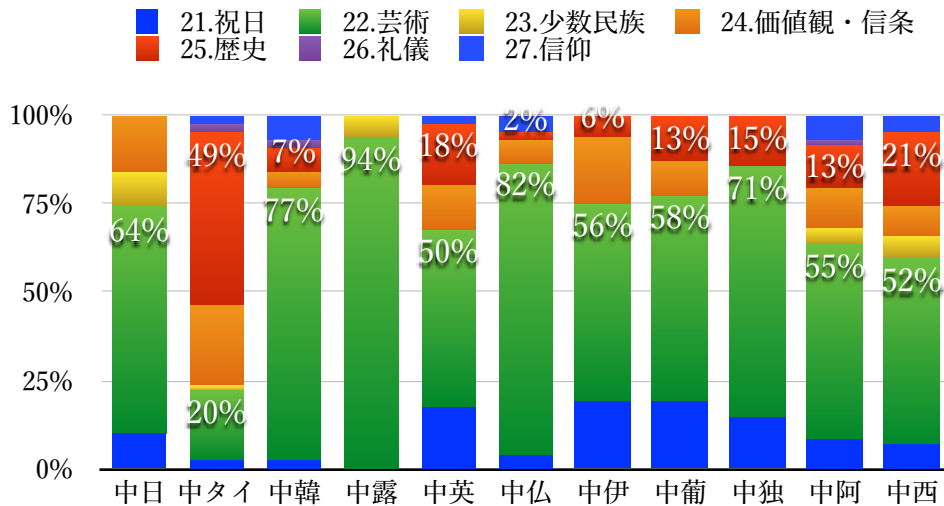


図3. 上位項目「2.伝統」における下位項目の割合

中日版

・芸術（音楽、造形、文学、演劇など）：

人類無形文化遺産シリーズ－花児（2010,11）、中国の書道(2011,5)、シルクの過去と現在(2011,5)、中国映画100年(2011,7)、龍門石窟；人類の無形文化遺産シリーズ－昆曲(2011,7)、中国古来のパフォーマンス芸術－雑技；春の花王－牡丹；囲碁－古い歴史を持つ知恵が現代へ(2011,9)、磁器(2012,10)、水墨画(2012,3)、中国最古の「電影」影絵芝居(2012,3)、太極拳(2012,7)、川劇の妙技－「変臉」(2013,5)、碁の美しさ(2013,11)、桜の姉妹－桃の花；中国四大書院（2014,7）、賈樟柯の映画（2016,35）、中国の「マイクロ映画」について（2017,41）、关雎（2010,3）、论语中的学习方法－孔子谈学习态度（2011,4）、孔子谈个人修养－论语二则（2011,5）、两小儿辩日（2011,6）、揠苗助长（2011,7）、报任安书（2011,8）、陋室铭（2011,9）、荀子・劝学篇（2012,10）、自相矛盾（2012,12）、史记・秦始皇本纪（2012,14）、史记・陈涉世家（2012,15）、史记・项羽本纪（2013,17）、晏子使楚（2013,18）

そこで図3.で下位分類同士の比較から見ると、「22.芸術」の比率が一番高いことがわかる。中日版は64%、中韓版は77%、中露版は94%、中英版は50%、中仏版は82%、中伊版は56%、中葡版は58%、中独版は71%、中阿版は55%、中西版は52%であり、「22.芸術」に言及するページ数は「2.伝統」の半分を超え、7つの下位分類の中で比率が最も高いことがわかる。特に、中露版、中韓版、中仏版では「22.芸術」に偏重している。そこで中

日版で取り扱う「22.芸術」の文化アイテムが豊富かつ他の言語版にも取り入れているアイテムが多いため、その代表例として例示する。

「2.伝統」は中国古代文化の魅力を提示するもので、中国語学習者に中国文化への親近感を持ってもらう意図がある。「22.芸術」のなかでは音楽、造形、文学、演劇などの芸術や感性に関わる項目が取り入れられ、現代芸術より古典芸術が多く選ばれている。古典芸術のなかで哲学や思想、美意識、民族的感性、価値観など中華民族が長年にわたり培ってきたもので、古代の中国文化の魅力を提示し、中国文化の価値を認識させ、中国文化に親しみや興味を持たせることを狙っている。

さらに、このテーマは現代中国が古代中国の継承線上にあることを強調している。例えば、「シルクの過去と現在」や「囲碁ー古い歴史を持つ知恵が現代へ」など古代中国が培ってきた伝統技術や知恵は現代中国で活用されており、様々な文化遺産が現代での生命力を得ている。現代中国が古代中国の豊かな文化遺産を重視し、継承し、発展し続けることをアピールしている。

このような視点は中国政府が伝統を尊重し、継承しながら独自の発展の道を歩むといった発展理論と関連する。鄧小平は中国共産党第12回全国代表大会開幕の挨拶で、「自らの道を歩み、中国の特色ある社会主義を建設する」³⁰理論を打ち出し、「中国の実情と伝統からの出発点を堅持する」ことを掲げた。中国の特色のある発展を掲げる中国政府が中国の歴史と文明を継承し、自ら発展の道を切り開くという観点は雑誌の編集意図に現れている。

³⁰中国共産党網 中国共産党史 第九章「自分の道を歩み、中国特色のある社会主義を建設する」 <http://cpc.people.com.cn/GB/64184/64190/65724/4444937.html> 2017/12/19参照

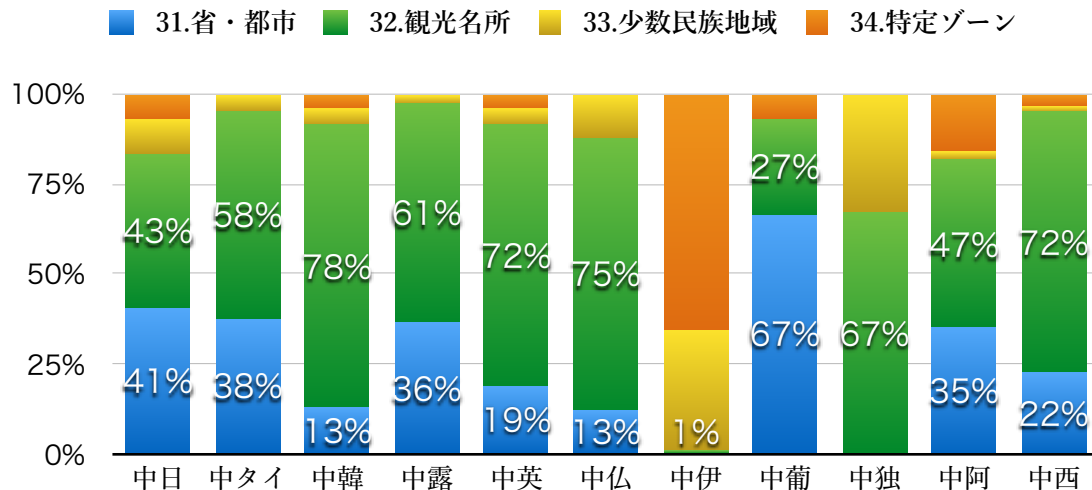


図4.上位項目「3.地域」における下位項目の割合

中韓

・観光名所：ハルピン雪まつり（2011.4），螭源（2011.6），少林寺（2011.7），莫高窟（2013.17），昆明（2013.19），丽江（2013.19），拙政園（2016.35），江南水郷（2016.36），杭州茶屋（2016.36），大理（2016.36），江南庭園（2016.37），丽江（2016.37），シャングリラ（2016.38），敦煌莫高窟（2017.40），龍門石窟（2011.7），滕王閣（2013.20）

上位分類の「3.地域」には、下位分類における「31.省・都市」、「32.観光名所」、「33.少数民族地域」、「34.特定ゾーン」の四つが該当する。そこで、図4.で下位分類を比較すると、「32.観光名所」のページ数が圧倒的に多いことがわかる。中日版は43%、中タイ版は58%、中韓版は78%、中露版は61%、中英版は72%、中仏版は75%、中独版は67%、中阿版は47%、中西版は72%を占めており、中韓版、中西版、中仏版が特に偏重している。

「3.地域」は中国それぞれの地域の歴史の蓄積や地域文化の多様性を強調している。例えば、中韓版の「3.地域」に書かれた文化アイテムを見ると、「32.観光名所」は自然や歴史的遺跡、世界遺産などの項目に対応しているが、それぞれの地域に歴史的な蓄積が豊富

にあることを強調し、「31.省・都市」、「33.少数民族地域」とあわせて地域文化の歴史の深さと多様性をアピールしている。

また、「34.特定ゾーン」で、中国は近年の地域発展政策の成果をアピールし、地域振興戦略、国策としての地域経済圏構想を展望している。2020年冬季オリンピックの開催地である北京近郊の張家口、チベット鉄道とチベット高原、陸のシルクロードにおいて重要な西安、海のシルクロードの起点である泉州が各言語版に盛り込まれている。2020年冬季オリンピックの主催国として開催地の詳しい紹介を通じて、今まで知られていなかった開催地の知名度を上げ、読者に開催地への期待感を掻き立て、地域振興の狙いがうかがえる。また、チベット鉄道の建設によって少数民族自治区であるチベット地域が遂げた経済発展をアピールし、政府の少数民族地域発展の成果を強調する狙いもある。さらに、西安と泉州はいずれも歴史上、中国の海外貿易経路のシルクロード上の重要な都市であり、近年の中国の国家戦略が掲げている「一带一路」³¹ 欧亜広域経済圏構想と対応することから、現代の経済圏構想がかつてのシルクロードを継承するものであることを暗示している。ユネスコの人文・社会科学局が推進する「シルクロードー対話、多様性、開発」プログラム³² は、シルクロードを平和の象徴であると認識し、中国は「一带一路」構想を歴史上のシルクロードと関連することを通して「一带一路」構想が経済協力を通じて平和を実現することを暗示し、構想の正当性を訴える狙いがうかがえる。

³¹ 「一带一路」とは、習近平国家主席が2013年に提唱した中国と欧州を結ぶ巨大な広域経済圏構想を指すもので、陸路で中央アジアを経て欧州に続く「シルクロード経済ベルト」が「一带」で、南シナ海からインド洋を通り欧州へ向かう「21世紀の海上シルクロード」を「一路」と呼ぶ。

日経新聞 2017/6/5「一带一路 中国提唱の広域経済圏構想」https://www.nikkei.com/article/DGXLASFS05H53_V00C17A6EA2000/ 2017/12/19参照

³² UNESCO Silk Road Online Platform <https://en.unesco.org/silkroad/unesco-silk-road-online-platform> 2018/1/10参照

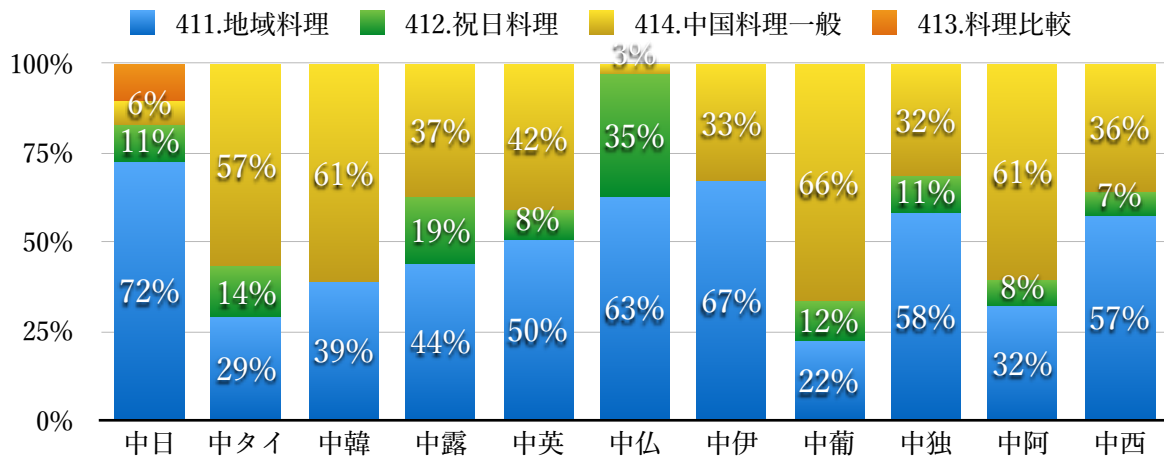


図5.上位項目「4.飲食」における下位項目の割合

・食事：

ー地域料理：羊の肉のしゃぶしゃぶ@北京（2013,17）、雲南名物料理「過橋米線」（2013,19）、丹東の新鮮な貝料理（2013,21）、涙ながらに飲む「豆汁」、「まんじゅう」ー肉まん（2014,22）、豊富な具材で楽しむ「重湯鍋」無米粥(かゆ)（2014,23）、広州の「朝ヤムチャ」を味わう、おうちで中華ーお手軽レシピ プリプリあつあつ海老の蒸し餃子（2014,24）、西安人のハンバーグ ロージャーモー（2014,25）、四川料理の香り、ジュワー ガチョウのロースト@香港（2014,26）、広東の「早茶」文化（2016,35）、蘭州牛肉ラーメン（2016,36）、金華ハム（2016,37）煲仔飯ー土鍋飯（2016,38）、黄橋焼餅（2016,39）、糖水（2017,41）、唐辛子の百年ー四川料理の年月（2017,42）、夏の風物詩ー涼皮（2015,31）、記憶の中の中原グルメ（2015,32）、舟山の美食文化（2016,34）、カニ料理文化（2013,16）、

ー祝日料理：大晦日の「団らん飯」;上海食いしん坊ガイド（2015,28）、月餅と最中（2012,14）、

ー中国料理の一般（マナーなど）：中国の飲食文化ードキュメントリー『舌の上での中国』（2012,12）、食卓を取り囲む奥深き世界ー中国の食卓礼儀ー（2013,20）、

ー料理比較：日本と中国の餃子（2012,13）、日中の鍋物文化（2012,15）、美味いたこ焼き（2015,30）、

・飲み物：中国黄酒のスピリットー紹興花彫（2014、9）、北京前門純情大碗茶ー茶館パフォーマンスの愉快な生活（9）、春は茶の季節（12）、茶の郷ー龍井村（23）、「功夫茶」の味わいー茶文化における中日の違い（25）、鉄観音（39）、お茶とコーヒー、喫茶の歴史ー陸羽と茶道の発展、老舎茶館に見る中国の茶館の変遷（42）

上位分類の「4.飲食」は、「41.食事」と「42.飲み物」の二つの中分類に分かれ、さらに「41.食事」は「411.地域料理」、「412.祝日料理」、「413.料理比較」、「414.中国料理一般」の下位分類に分かれる。そこで、図5.で「41.食事」の下位分類同士の比較を見ると、中国の各地域の代表的な料理を紹介する「411.地域料理」と中国料理の一般的な特徴や食卓マナーを紹介する「414.中国料理一般」が最も重視されている項目であることがわかる。「411.地域料理」と「412.中国料理一般」はメインテーマとして選定されているのである。

料理を通して、中国文化の多様性が強調されている。中国料理は多彩な技法や味のバリエーションを持ち、地理や気候の条件等、各地で特色が異なる中国では、地方ごとに食材も多様で、調理法や味付けも地域差が大きい。また、中国料理は中国人の早くからの海外移住によって中国以外の国や地域で根を下ろし、中華文明の影響を強く受けた海外の周辺国でも、その国の料理法に大きな影響を与えている。中国料理は海外の人々にとっても親しみのある文化アイテムであり、親近感の高い文化であるとの編集部の判断がうかがえる。また、料理を介してその中に蓄積された中国の多様な地域文化や価値観なども紹介することができる。

中国文化の一般的な特徴に加えて、「2.伝統」、「3.地域」、「4.飲食」は少数民族の独特の魅力にも触れるもので、中国文化の民族的多様性を強調することにもなる。例えば、中露版の「2.伝統」はドカ族、満州族、ナシ族、リソ族、ミョウ族などを紹介し、中日版の「3.地域」は客家土楼、西江苗寨、内モンゴル大草原などを取り上げている。このような内容構成から民族的多様性を提示しながらも整合性を持つ中国文化が浮かび上がる。

6.2 内容の分散傾向

ここまでのところで、雑誌の文化記事の共通性を分析したが、次に文化記事の分散傾向を検討する。文化記事には、共通性と同時に多様性も見られ、言語版ごとに内容が工夫されている。特に「1.中国の今」と「5.絆」は言語版ごとに差異が見られる。

上位項目の「1.中国の今」は中国をリアルタイムに海外に紹介する箇所である。その中で、「11.中国人」、「12.中国産業」、「13.中国社会」の三つの下位項目に分かれる。図6は三つの下位項目が各言語版の上位項目の中で占めている割合を示している。ここでは、三つの項目に言語版ごとのばらつきが見られる。

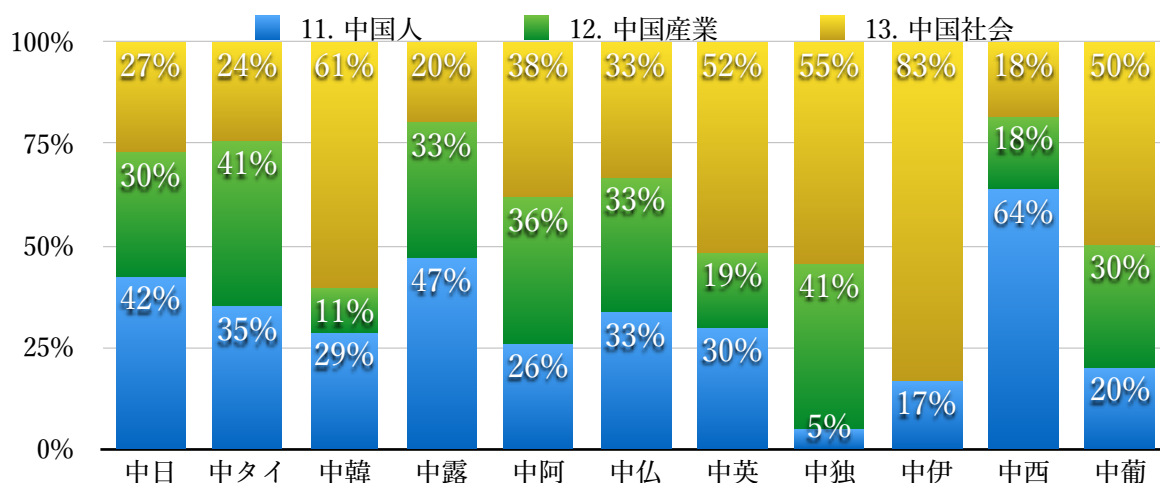


図6. 「1.中国の今」の下位分類の内訳

「1.中国の今」は中国社会の過去から現在に至るまでの変遷と経済社会のトレンドを語る。例えば、「自転車王国から自動車の時代へ」、「結婚風俗の変遷」、「中国のごく普通の一家の60年の変化」、「中国が「創」時代を迎える」（付録3に参照する）などのテーマが盛り込まれている。次に中国社会の変遷を語る「自転車王国から自動車の時代へ」と中国経済のトレンドを語る「中国が「創」時代を迎える」の内容を例示する。中国社会では様々な変化が起こり、特に経済産業面の成長が著しい。「1.中国の今」は中国の経済発展の成果とビジネスチャンスをアピールしている。

「1.中国の今」のもう一つの特徴は重要産業を紹介し、産業の競争力を提示し、先進国に産業技術協力を呼びかける点である。下位分類である「22.中国産業」には「中国の鉄道発展の黄金期」、「中国の宇宙航空業」、「中国製造から中国デザインへ」、「中国のネットショッピング」、「中国のフィンテック」、「一带一路とは」（付録3に参照する）などの内容が盛り込まれ、新しい産業像を形成する狙いがうかがえる。特に、著しい成長

を遂げた鉄道インフラや宇宙航空業など国力に関わる重要産業の紹介に力を入れている。また、近年ネットビジネスを始めとするIT産業の勃興により中国市場は活力に溢れ、情報社会で中国の存在感をアピールしている。さらに、中国のものづくりにおいては労働力集約型の製造や偽りものの横行から、付加価値を持つ独自性のあるものへと転換が示され、ものづくりの新しい一面を紹介し、製造業への新たな認識を育む狙いが見られる。

中国はドイツを産業協力のパートナーと想定していることが読み取れる。例えば、中独版において、「Industry4.0の波にのる中独」、「中国産業自動化における中独の協力」、「ドイツが一带一路戦略の中での位置付け」（付録3に参照する）など中国とドイツの産業技術協力は中国の経済戦略の中に盛り込まれ、中独経済協力の未来を展望している。

<p>中国語（一部抜粋）</p> <p>从自行车王国到汽车时代（中日第8期）</p> <p>在过去的十几年间，中国汽车的保有量大幅增加，汽车快速取代自行车，成为城镇人们生活出行的第一选择。截至2010年10月，中国机动车保有量约为2亿辆，其中汽车8762万辆。中国正在从自行车王国跨入奔腾的汽车时代。</p> <p>（中略）</p> <p>在这个飞速发展的国家里，什么事情都可能发生。汽车正在深刻地改变着城镇的面貌。</p>	<p>日本語（拙訳）</p> <p>自転車王国から自動車時代へ</p> <p>過去の十数年において、中国の自動車保有量は大幅に増加し、自動車は早いスピードで自転車に取って代わり、都市に住む人々の移動手段のトップ選択となった。2010年10月現在、中国の自動車保有量は約2億台であり、その内自動車は8762万台になる。中国はまさに自転車王国から凄まじい勢いで自動車時代に突入した。</p> <p>（中略）</p> <p>この速いスピードで発展している国では、どんなことでも起こりうる。自動車がまさに都会の容貌を著しく変えようとしている。</p>
<p>中国迎来“创”时代（中英第39期）</p> <p>在今年全国两会上，中共中央政治局常委，国务院总理李克强在政府工作报告中提出要把“大众创业，万众创新”打造成推动中国经济继续前行的“双引擎”。</p> <p>（中略）</p> <p>受创业环境变化驱动，中国平均每天有10000多家企业注册，平均每分钟就会诞生7家公司—“中国迎来第四次创业大潮”</p> <p>...</p>	<p>中国が「創」時代を迎える</p> <p>今年の中国の两会（全国人民代表大会と中国人民政治協商会議）で、中国政治局常務委員兼国家総理である李克強が政府活動報告を行い、その中で「万人による創業、万人によるイノベーション」のスローガンを提出し、これを中国経済の持続発展するためのダブルエンジンにすることを掲げた。</p> <p>（中略）</p> <p>創業の社会環境の変化により、中国では毎年10000社の会社の申請が受理され、1分間に7軒の会社が誕生するぐらいである。「中国は今まさに第四回創業トレンドを迎えている」</p> <p>...</p>

<p>中国語（一部抜粋） 中国鉄道発展の黄金期（中日 第28期）</p> <p>近年来，一个接一个的技术突破被写进铁路发展的大事记中。 （中略） 1997年中国实施第一次铁路大面积提速，从此揭开了铁路大提速的序幕。至今，七次铁路大提速已经完成，高速铁路时速保持在350千米，普通列车速度也有了很大的提高，改变了许多中国人的生活。 从没见过火车，到第一次坐火车，再到能够熟练地在网上购买火车票，越来越多的人开始适应高铁时代的舒适快捷，也愿意选择快速，安全的动车，高铁座位出行方式，中国铁路已经迎来了发展的黄金期。</p> <p>...</p>	<p>日本語（拙訳） 中国鉄道発展の黄金期</p> <p>ここ数年、技術的難関が次々と突破され、鉄道発展の歴史が綴られた。</p> <p>（中略） 1997年、中国が第一回の広範囲に渡る鉄道速度改善策を実施し、鉄道大加速の幕を開けた。現在までに、すでに7回の鉄道加速が行われ、高速鉄道が時速350kmを維持し、普通列車の速度も大幅に上がり、多くの中国の人々の生活を変えた。</p> <p>列車を見たこともない状態から初めての乗車、ついにはネット上で列車の切符を自由にかえるようになるまで、ますます多くの人々は高速鉄道時代の快適と便利さに適応し始め、出かける際に速くて安全な高速鉄道という移動手段を好んで選ぶようになり、中国の鉄道の発展は黄金期を迎えた。</p> <p>...</p>
<p>中国金融科技の時代（中葡 第19期） ...</p> <p>在方兴未艾的中国金融科技市场上，一些企业有很多被称为“独角兽”，即市值超过10亿美元的初创公司，而且其增长的能力同样令人吃惊。毕马威在报告中指出，2014年在全球50家金融科技企业中，只有一家来自中国。如今，这个数字达到了8家，但有一个细节需要注意：排名前五的企业当中，四家均来自中国...</p>	<p>中国のフィンテックの時代</p> <p>...</p> <p>勢いよく盛り上がっている中国フィンテック市場の中で、いくつかの「ユニコーン」と呼ばれる企業が存在する。これらは、時価総額が10億を超えるベンチャーであり、しかも驚くほどのスピードで成長している。KPMGが報告の中で、2014年世界のトップ50軒のハイテック企業の中で、中国が一軒しかいなくて、今日は8軒に昇って、しかも、最上位5軒の中での4軒が中国企業...</p>

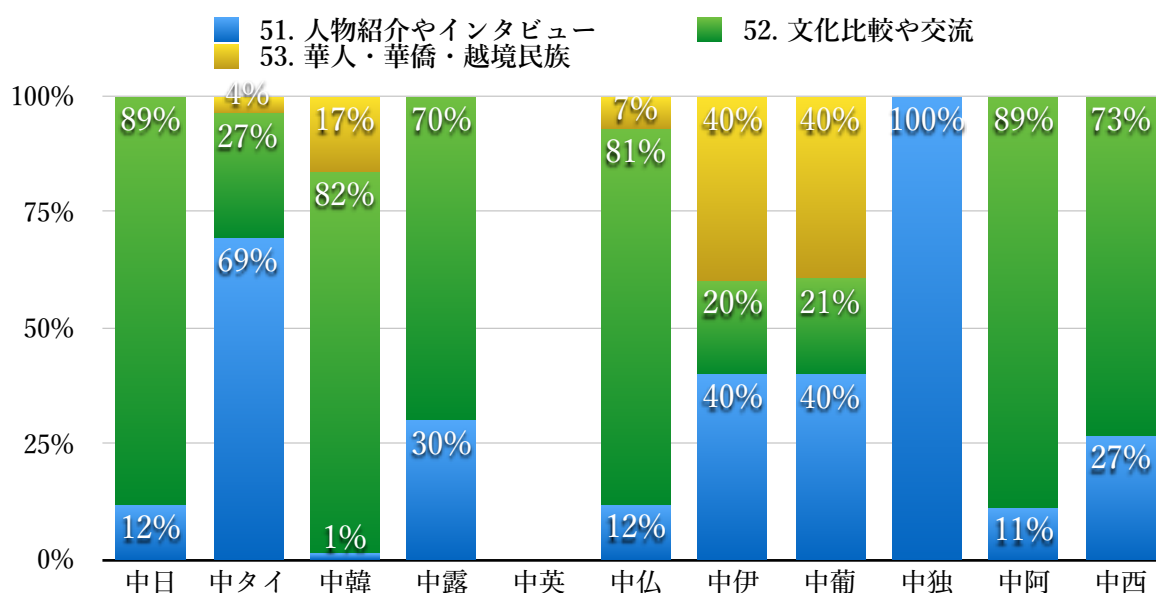


図7. 「5.絆」の下位分類の内訳

「5.絆」は、さらに分散が読み取れる。図7.を見ると、中英版を除けば、すべての言語版に「5.絆」に関する内容が盛り込まれている。

以上のデータの分散状況は「5.絆」が中国と相手国や地域との戦略的関連性を提示することにより、言語版ごとに内容構成を変え、特定の国家や地域の特色を強化する狙いがうかがえる。また「1.中国の今」にも同じような傾向がうかがえる。

言語版は一つの国に対応する場合もあれば、国をまたいで発行されている場合もある。

「1.中国の今」と「5.絆」の企画には国単位と言語圏志向の企画がうかがえる。例えば、中日版、中タイ版、中韓版は国単位で企画されたものだが、中露版、中仏版、中伊版、中葡版、中独版、中阿版、中西版は言語圏志向となる。

言語圏志向の版は、それぞれの言語圏の中での中国にとっての主要国に海外編集室を置き、特定国への発信を強化している。例えば、ロシア語圏、アラビア語圏、フランス語圏、ドイツ語圏、ポルトガル語圏、スペイン語圏の6つの言語圏の主要国に編集室を置き、中露版はロシア、中阿版はエジプト、中仏版はフランス、中西版はスペイン、中葡版はブラジル、中独版はドイツに編集室が設置されている。ただし、中英版については北京の孔子

学院本部が編集し、海外編集室を設けていない。英語は現在のところ国際共通語とみなされており、中英版は英語圏以外の地域でも発行されていることから、言語圏志向を断念し、特に「5.絆」を設けていない。編集室の配置は主要国に偏っているようだ。特に、中葡版の海外編集室がブラジルに設置され、中阿版の海外編集室がエジプトに設置されていることを見ると、ここには中国の戦略的意図が鮮明に現れている。

中葡版は、中国とブラジルを始めとする南米諸国は文化面や国民性が類似しており、絆が深いことを述べ、それが経済協力の基盤にあることを強調している。そこで中葡版の抜粋やタイトルを検討する。

中国とブラジルは文化面や国民性が類似しており、それは「ブラジル—熱帯の中国」として紹介されている。また、ブラジルにある中国風の建築を紹介する「ブラジルの町にある中国スタイル」、中国の高名な画家張大千がブラジルへ移住し、中国風の庭園を作ることを紹介する「張大千とブラジルの八徳園」、ブラジルに暮らす華人の青年たちの中国伝統音楽への愛着を描写する「高山流水」、サッカー選手の育成についてブラジルと中国の連携を物語る「体育と文化：中国とブラジルの連携の新領域—ブラジル体育部長の特別インタビュー」（付録3に参照する）など、中国とブラジルの間には文化や国民性において、共通性が多く、絆が深いことを強調し、それが経済協力の底力であることを暗示している。

中国にとってブラジルは存在感のある国で、「中国網」（日本語版）は2017年8月14日「中国からの投資がブラジル経済の長期的発展を支える」³³と題する次のような記事を公開している。

「ブラジルは農業資源の豊富な国家である。しかし、道路のインフラは相対的に後れている。このようなブラジルの国情が中国との経済協力に反映されている。ブラジルは大量

³³（「中国網日本語版（チャイナネット）」2017年8月14日参照http://japanese.china.org.cn/business/txt/2017-08/14/content_41406050.htm） 2017/12/19参照

な農産物を中国に輸出している。そして中国はブラジルのインフラプロジェクトに投資している。両国は互いにウィンウィンの関係にある。ブラジルジェトゥリオ・ヴァルガス財団の研究者カワリュエ氏が記者のインタビューに答えた。カワリュエ氏は、「中国のブラジルの経済発展に対する貢献は誰の目にも明らかである。中国がブラジルの夢の実現に協力してくれたことに感謝する」と述べた。「…ブラジルの失業率は高止まりしている。中国企業の工場建設への投資が直接的に就業機会を創造した。ビヤディ（比亞迪・BYD）ブラジルソーラーパネル工場は現地に360人の雇用を提供した。中国企業はローカライゼーションの発展戦略を実施し、国家电网公司ブラジル控股公司の中のブラジル人の職員の比率は90%を超えている。」

この記事から、中国はインフラ面においてブラジルに協力し、両国が経済面で補完し合う関係にあることが読み取れる。

さらに、日経新聞2015/5/20付の「中国、ブラジルに6兆円超 投資・経済協力で合意」と題する記事は次のように中国とブラジルの関係を論じている。

「ブラジルを訪問している中国の李克強首相は19日、首都ブラジリアでルセフ大統領と会談し、インフラや製造業、鉱業などの分野で中国が530億ドル（約6兆4千億円）超の投資や経済協力を実施することで合意した。中国は巨額の投資をテコに南米で存在感の拡大を狙う。」³⁴

この二つの記事から、ブラジルはインフラ整備が遅れ、また失業率が高いため、中国企業が現地で雇用創出を図っていることがわかる。その一方で、ブラジルは国内の経済発展や社会の安定化の面で中国に依存していることから、中国にとってブラジルはインフラ整

³⁴日経新聞2015/5/20付https://www.nikkei.com/article/DGXLASGM20H1O_Q5A520C1EAF000/

2017/12/19参照

備など重要な海外投資先となっていることがわかる。またブラジルは南米の重要国でもあることから、中国はブラジルを通じて南米での存在感を強める狙いがあると見られる。マクロ経済においてブラジルと中国は緊密関係にあるのだ。

中葡版の雑誌の中でもこのような関係は両国の文化の共通点や文化的な絆を強調するもので、それは各号の「本号の特別レポート」の欄に現れている。

中国語（一部抜粋）	日本語（拙訳）
<p>巴西：熱帯の中国（中葡版2015第6期） 在几个世纪当中,巴西都被作为欧洲与亚洲之间海上贸易的中转站,因此,在其最初的 300 年历史里,巴西的社会形态因各种机缘巧合受到了东方深刻的影响。</p>	<p>ブラジルー熱帯の中国 何世紀に渡り、ブラジルがヨーロッパとアジアの間での貿易中継所の役割を担い、最初の300年間、ブラジルの社会形態が様々な面でアジアの深いな影響を受けていた。</p>
<p>这种影响使得研究巴西社会形态的一位重要学者,社会学家吉尔伯特·弗莱雷将巴西称为是“热带的中国”。</p>	<p>この影響がブラジルの社会形態を研究する学者である、社会学者のGilberto Freireがブラジルを「熱帯の中国」と称する。</p>
<p>（中略）</p>	<p>（中略）</p>
<p>“虽为欧洲殖民地,但巴西不仅在生态上与东方接近,更以东方文明的经验和方略适应了热带的生活,从而使其在社会结构和景观等多个方面成为东西方文化兼收并蓄的地区。在这一地区,甚至有时东方文化的影响显得比西方文化更为突出。”</p>	<p>「ブラジルがヨーロッパの植民地でありながら、生態上アジアと似ていて、またアジア文明の経験と方略で熱帯の生活を適応し、社会構造と景観などの面で東西の融合する地域となる。ここで、東方文化の影響が西洋より顕著である場合もある。」</p>
<p>（中略）</p>	<p>（中略）</p>
<p>巴西人同东方民族,特别是中国人有着非常相似的行为方式:语言交流上,倾向于间接的表达,而不是完全说明。倾向于领会话语背后所包含的社会文化层面含义,而不是只理解表层含义;善于感知非语言信息;非直线性思维,更依赖语境分析和感知能力;说话绕圈子,避免说“不”;通过简单、含糊和并不十分关联的信息进行交流;能迅速获取视觉讯息,不拘泥于字面含义或书面信息</p>	<p>ブラジル人とアジア人、特に中国人と立ち振る舞いの面において非常に似ている:言語コミュニケーション上、完全な説明より間接的な表現が好きである。表面の意味を理解するよりはディスコースの深層にある社会文化レベルに理解する傾向となる。非言語情報を感知することに優れている。直接に断らずに、曖昧な表現が好き。シンプルかつ曖昧で不十分な関連情報を持ってコミュニケーションをとる。迅速に視覚情報をキャッチすることができる。紙面意味にこだわらない。</p>
<p>...</p>	<p></p>
<p>「巴西小镇的中国风」2015/11/第6期</p>	<p>「ブラジルの町にある中国スタイル」</p>
<p>「里约的茶叶种植」</p>	<p>「レオデジャネーロのお茶の栽培」</p>
<p>「向巴西人翻译中国 - 圣保罗州立大学出版社的实践」</p>	<p>「ブラジル人に中国を翻訳するーサンパウロ大学出版社の実践」</p>

体育和文化:中国与巴西合作的新领域 专访巴西体育部长阿尔多·雷贝洛 (2014/7 第3期)	「体育と文化：中国とブラジルの連携の新領域ーブラジル体育部長の特別インタビュー」
张大千与巴西八徳園 (2015/7 第9期)	「張大千とブラジルの八徳園」
在圣保罗品尝中国味 (2015/5 第3期)	「サンパウロでの中華料理を味わう」
高山流水觅知音 (2016/11 第17期)	「高山流水」

次に、中阿版を検討する。ここでは中国とエジプトを始めとする中東諸国との経済協力や安全協力に関する内容が特徴的であることから、中国とエジプトの関係について分析を進めたい。産経新聞は2016年1月21日の「中国の習近平主席、エジプトに10億ドル融資で存在感」³⁵の報道で次のように論じている。

「中東歴訪中の中国の習近平国家主席は21日、エジプトの首都カイロでシーシー大統領と会談した。…中国はエジプトが計画する新首都建設への投資などにも触手を伸ばすなど経済進出を加速させており、今回の訪問を、エジプトにおける影響力拡大に最大限に活用している格好だ。…共通の利益を達成するため、中国と真摯（しんし）に協力していく。シーシー氏は20日、前の訪問先であるサウジアラビアから到着した習氏を空港で出迎え、こう歓迎した。…シーシー氏は2014年の大統領就任以来、すでに2回にわたって中国を訪問し、中国からの投資増大を働きかけてきた。エジプトは、中国が主導するアジアインフラ投資銀行（A I I B）にも創設メンバーとして参加している。中国側も、人口9千万人超のエジプト市場での公共事業受注などに強い意欲を示してきた。今回の習氏訪問は、そんな両国関係をいっそう緊密化させる契機になることは間違いない。」

³⁵ 産経新聞2016.1.21「中国の習近平主席、エジプトに10億ドル融資で存在感」<http://www.sankei.com/world/news/160121/wor1601210056-n1.html> 2017/12/19参照

この記事からは、中国のエジプトへの関心はインフラ整備や金融などの領域であり、経済協力を通してエジプトとの両国関係を深めていく狙いがあることが読み取れる。

また、同じ日のロイター通信も習近平主席の中東歴訪に着目し、中国とエジプトとの経済協力に加え、エジプト国内の治安面で両国が協力する姿勢をとることを報道した。

「中東歴訪中の中国の習近平国家主席は21日、2番目に訪れたエジプトでシシ大統領と会談し、同国の治安維持に向けた取り組みに支持を表明した。」³⁶

中国にとってのエジプトを始めとするアラブ諸国はインフラ投資の巨大市場でありながら、地政学においても重要であることが読み取れる。

中阿版は、中国とアラブ諸国との経済的相互補完性を伝えるテーマを掲載し、中阿の経済協力の可能性を模索する姿勢を示している。エジプトを中心とするアラブに関する記事を示す中阿版の抜粋やタイトルを指摘する。「中国とエジプトの創世神話」は中国とエジプトはともに四大文明の一つとして文化的親近感があることを強調する。「中国とエジプトの経済の発展」は中国とエジプトの経済状況を紹介し、経済協力の可能性を説明する。「一带一路が中阿にもたらすビジネスチャンス」は中国で近年提唱する経済圏構想である「一带一路」³⁷におけるアラビア諸国の経済発展へのチャンスを紹介する。「エジプトで初めてのビジネス中国語テレビ番組が中東で放送開始」はエジプトを始めとする中東地域の人々の中国語学習ブームを紹介するもので、（以上付録3に参照する）中阿が様々な局面での経済協力の可能性と明るい未来への展望を強調している。

³⁶ 中国、数十億ドル規模のエジプト向け投資・援助で合意-<https://jp.reuters.com/article/egypt-china-aid-idJPKCN0V0015>) ロイター通信 2017/12/19参照

³⁷前掲注31.

中国語（一部抜粋）	日本語（拙訳）
<p>「中埃经济的发展」第38期</p> <p>中国和埃及的经济贸易投资有着良好的基础，同时中埃经贸合作还有较强的互补性。埃及在中东地区劳动力资源相对充沛－近一亿的人口大国，区位优势明显－中东军事政治大国，位于亚非欧交汇点，教育水平较高－有着中东最好的教育资源。</p> <p>（中略）</p> <p>中埃两国目前处在不同的发展阶段，中国的部分优势产业在埃及正好适用，可以从不同方面弥补埃及的产业缺陷，促进埃及的产业调整以及整合。从工业品到消费品，中国产能与埃及工业化道路结合起来，发展前景广阔。</p> <p>...</p>	<p>中国とエジプトの経済の発展</p> <p>中国とエジプトが貿易投資面において良い基礎を持ち、また経済協力面に相互補完している。エジプトが中東地域で労働力が相対的に豊富であり、一億近くの人口を有し、地域優位性が明らかである。また、エジプトが中東の軍事政治大国でもあり、アジア、アフリカ、ヨーロッパの交差点に位置し、教育水準は相対的に高く、中東の一番良い教育資源を持つ。</p> <p>（中略）</p> <p>中国とエジプトが今異なる発展の段階において、中国の一部の重要産業がエジプトで適用でき、様々な面でエジプトの産業欠陥を補うことができ、またそれを通してエジプトの産業調整と統合を促進することもできる。中国の産業キャパシティがエジプトの工業化に組み入れれば、両国の発展の見通しがきつと明るいことになる。</p>
<p>「埃及首套汉语教学节目面相中东播出」（2013/1第16期）</p>	<p>エジプトで初めてのビジネス中国語テレビ番組が中東で放送開始</p>
<p>「阿拉伯国家如何借鉴“中国经济发展经验”」（2016/5第38期）</p>	<p>アラビア諸国がいかに中国の発展の経験から学ぶか</p>
<p>一带一路给中阿带来的新机会（2014/4第25期）</p>	<p>一带一路が中阿にもたらすビジネスチャンス</p>
<p>阿拉伯人眼中的中国形象（2016/5第36期）</p>	<p>アラビア人が見る中国</p>
<p>中国高科技融入阿拉伯国家（2013/3第18期）</p>	<p>中国のハイテックがアラビア諸国に</p>
<p>中阿能源现状与前景(2014,第26期)</p>	<p>中阿のエネルギーの現状と展望</p>
<p>中国和埃及的创世神话（2017/第41期）</p>	<p>中国とエジプトの創世神話</p>

7. おわりに

本研究は、マルチリンガル雑誌『孔子学院』の文化記事のテーマを分析し、海外の中国語学習者に対して、どのような「中国」を発信し、その背後にどのような国家の戦略的狙いがあるかを考察した。

第1章では、これまでの孔子学院に対する研究の論点を整理した。まず日本や欧米、中国本土の研究者による「孔子学院」研究を概観し、「孔子学院」に関する研究は孔子学院そのものや孔子学院の影響力、孔子学院と中国の外交政策の関連などに焦点が絞られてきたことが判明した。その結果、孔子学院と中国文化の海外展開戦略との関連性や孔子学院の出版事業の戦略性に関する研究が行われていないことを確認した。

第2章において、雑誌『孔子学院』の研究対象としての価値を検証し、雑誌が中国政府主導の対外文化発信戦略の成果であるため、雑誌の内容分析により海外へ伝える「中国」像の解明を研究目的とした。

第3章において、中国文化の海外展開戦略の政策過程を概観し、孔子学院プロジェクトがこの戦略の中心であり、雑誌出版事業が戦略の担い手であることを検証した。

第4章において、雑誌『孔子学院』の創刊経緯など雑誌の基本情報を紹介し、雑誌記事の内容配分の分析から、『孔子学院』が文化言語学習雑誌のジャンルに属することを検証した。

第5章において、雑誌の内容を「1.中国の今」、「2.伝統」、「3.地域」、「4.飲食」、「5.絆」の五つの上位分野と18つの下位分野に分類し、各分野に属する記事のページ数が雑誌全体に占める割合をデータで示した。

第6章では、第5章のデータを解析した。分析の結果、雑誌文化記事に集中と分散の傾向が読み取れた。上位分類の中では「2.伝統」に集中し、これが雑誌のメインテーマであることがわかった。また、各上位分類の中での下位分類には「22.芸術」、「32.観光名所」、「411.地域料理」と「414.中国料理一般」にそれぞれ集中することがわかった。

このような集中の傾向から、『孔子学院』は中国古代文化の魅力と文化的価値を提示し、中国語学習者に中国文化への親近感を持ってもらうこと、現代中国が古代の中国文明の継承線上にあることを暗示し、自国の歴史と文明を継承しながら発展し続けることをアピールしていることが読み取れる。また、中国の地域文化の歴史の深さと多様性を提示しつつ、近年の地域発展政策の成果をアピールし、近年に政府が打ち出した地域振興戦略や地域経済圏構想を展望し、発展のさらなる期待感を掻き立てている。また、中国料理は海外の人々にとって親近感の高い文化アイテムであり、料理を介してその中に蓄積された中国の多様な地域文化や価値観などを紹介している。

「2.伝統」、「3.地域」、「4.飲食」といった中国文化の一般的な特徴に加え、少数民族の独特の魅力にも触れ、全体的には民族多様性を訴えながらも整合性を保つ中国文化を提示している。

分散の傾向は「1.中国の今」と「5.絆」に現れている。内容構成は中国と相手国や地域との戦略的関連性を考慮し、言語版ごとに異なっている。「1.中国の今」の大きな特徴は、中国の過去から現在に至るまでの変遷と経済社会のトレンドを伝えるもので、中国の経済発展の成果を訴えている。また、重要産業を紹介し、産業の競争力を提示し、先進国にも産業技術協力を呼びかける。「5.絆」は補足的な内容として、中国と相手国の文化や国民との文化的交流や現地の華人・華僑、越境民族によって築き上げた絆を喚起するもので、相手国との民間レベルでの交流を強調し、経済交流について民間の支持を獲得したいとの狙いがうかがえる。

『孔子学院』はこのように現代中国の5つの側面を提示しており、これは主に中国の自国認識と判断によるものである。『孔子学院』は、中国の経済戦略を背景とした特定の国や地域への発信を重視する編集意図を推測することができる雑誌なのである。

8. 今後の課題

今後、マルチリンガル雑誌『孔子学院』が発信する「中国」の考察をさらに深めるために、本稿で行った計量調査にとどまらず、質的調査を実施する必要がある。したがって、言説のジャンルを分析し、どのような言説を通して「中国」が表象されているのか、またこの「中国」は中国人が認識する中国との間で整合性があるのかなどを考察したい。

また、本研究は『孔子学院』だけを研究対象としたが、同じジャンルの雑誌との対照研究も必要である。今後アジアで代表的な文化雑誌である『知日』、『燃点』、*ArtAsia Pacific*、『芸術界LEAP』、『秋刀魚』、*ART In Culture/ Art In Asia*などを取り上げ、国や地域ごとに文化発信の手法についての共通点と系統による差異を明らかにしたい。

さらに、マルチリンガル雑誌『孔子学院』の主要な読者である海外の中国語学習者の生の声も無視することができない。読者の立場に立ち、雑誌が伝えようとする「中国」像が読者の認識する「中国」像とどのように関連し、また関連しないのかをも検討する必要があるだろう。

参考文献

日本語

馬場毅(2010)「中国の対外教育—孔子学院を中心に」 *ICCS Journal of Modern Chinese Studies* Vol.2(1) pp.212-220.

戴蓉(2011)「孔子学院语言与文化外交」『言語と文化』第24号, pp.22-24.

侯佳奕(2011)「日本における孔子学院から見た中国の対外言語教育政策—言語普及機関の存在意義への再考—」(2011年 京都大学大学院人間・環境学研究科 提出 修士論文) http://www.flae.h.kyoto-u.ac.jp/11_Koh%20Kaeki_shuron.pdf 2017/12/19参照

日暮トモ子(2008)「中国の対外言語教育政策—現状と課題—」『比較教育学研究』第37号, pp.68-78.

黒田千晴(2006)「グローバル時代における中国の対外教育戦略」『留学生教育』(留学生教育学会)第11号, pp.1-10.

黒田千晴(2010)「アメリカ合衆国における中国政府の中国語教育普及戦略：メリーランド大学孔子学院の事例を中心に」『神戸大学留学生センター紀要』16号, pp.19-36.

李尚波(2009)「孔子学院に関する研究」『桜美林大学紀要 日中言語文化(孔子学院紀要合編)』第7号, pp.121-135.

西川恵(2005)「中国とフランスの言語普及戦略を追う」『遠近』(国際交流基金)第6号, pp.32-35.

大塚豊(2007)「中国語・中国文化の世界化戦略:孔子学院」『東亜』(財団法人 霞山会)

2007年8月号, pp.76-77.

大塚豊(2008)『WTO加盟後の中国高等教育の対外開放性に関する実証的研究』平成17-19年度科学研究費補助金(基盤研究(C)課題番号17530613 研究代表者 大塚豊)研究成果報告書 170 p.

ジョセフ・S・ナイ、久保伸太郎訳(1990)『不滅の大国アメリカ』読売新聞社 p.14.

欧文

Gil Jeffrey. (2008). The Promotion of Chinese Language Learning and China's Soft Power. *Asian Social Science*, vol. 4, no.10. pp.116-122.

Lien Donald, Oh Hoon Chang & Selmier W. Travis. (2012) Confucius institute effects on China's trade and FDI: Isn't it delightful when folks afar study Hanyu?. *International Review of Economics and Finance*, No.21. pp.147-155.

Paradise James. (2009). China and International Harmony: The Role of Confucius Institutes in Bolstering Beijing's Soft Power. *Asian Survey*, Vol.49, No.4. pp.647-669.

Starr Don. (2009). Chinese Language Education in Europe: the Confucius Institutes. *European Journal of Education*, Vol.1, No.44. pp.65-82.

Wheeler Anita.(2013). Cultural Diplomacy, Language Planning, and the Case of the University of Nairobi Confucius Institute. *Journal of Asian & African Studies*, Vol.2, No.49. pp.49-63.

Yang Rui.(2010). Soft power and higher education: an examination of China's Confucius Institutes. *Globalization, Societies & Education*, Vol.8, No.2. pp.235-245.

中国語

王学松(2005)「加强中外合作汉语教学项目模式的研究」中国高等教育学会『中国高教研究』第6期. pp.16-18. DOI: 10.16298/j.cnki.1004-3667.2005.06.025 2017/12/19参照

周志刚 乔章凤 (2007)「海外孔子学院合作办学模式探析」『江苏高教』第 5 期,pp.15-21.

郭宇路(2009)「孔子学院的发展问题与管理创新」『学术论坛』第6期.pp.30-37.

吴瑛 提文静 (2009)「孔子学院的发展现状与问题分析」『云南师范大学学报』第5期.

pp.12-18.

梁焱 焦健 (2011)「中亚孔子学院发展现状问题与策略研究」『新疆大学学报』第 2 期.

pp.20-29.

虞定海 张茂林 (2011)「基于孔子学院的武术推广模式研究」『上海体育学院学报』第1期.

17p.

曾敏 (2012)「秘鲁孔子学院发展现状、问题及展望」『成都航空职业技术学院学报』第1期.

pp.11-13.

刘程 安然 (2012)「传播中华文明-孔子学院与台湾书院的殊途同归」『国际汉语教育』第1

期.pp.20-29.

刘程 安然 (2012)「海外孔子学院网站新闻传播案例分析-以美国孔子学院网站为例」『武汉

理工大学学报』第4期. pp.18-28.

李佳 胡晓慧 (2013)「孔子学院发展和对外汉语教材本土化进程中的问题及对策」『中国

出版』第11期.pp.7-9.

謝辞

本稿の完成に至るまでに多くの方々からご指導、ご協力を賜りました。

まず指導教員の西山教行先生に厚く感謝を申し上げます。西山先生には論文の起草から完成に至るまでたいへんご丁寧かつ熱心に指導していただきました。大変感謝しております。

研究を進めるにあたり、外国語講座の研究室の先輩方、院生の皆様にも大変励まされました。葛茜先生、赤桐さんには、論文の構成や研究の進め方などご指導していただき、研究を支えていただきました。

阿辻哲次先生の「東アジア文化論」授業に受講させていただいたきっかけで、日本にある中国骨董博物館へ見学させて頂くことによって中国以外の中国文化にめざめました。泉屋博古館、藤井斉成会有鄰館、白鶴美術館、佐川美術館、国立民族学博物館、漢検・漢字博物館の学芸員様に東アジアの文化の源流、文化交流発信の古今を教えいただき、研究の視野を広げることができました。

東アジア・サマースクール2016（主催：奈良県・奈良県立大学）に参加し、東アジア諸国の大学生たちと一緒に東アジアの歴史や文化、政治、経済などの講義や視察研修などを通じて、グローバルな出会いをきっかけに異文化理解が深まり、東アジアにおける中国文化の位置付けを感じました。

「東アジア文化都市2017京都」のボランティアとして参加させていただき、国際文化イベントの運営や芸術家たちとの接触のチャンスをいただいたきっかけで、国際文化発信の魅力を感じ、論文の着想につながりました。

立命館孔子学院主催の各講座や文化イベントに参加させていただき、孔子学院の様々な事業内容を体感させていただいたおかげで、筆者の問題意識が生まれ、マルチリンガル雑誌『孔子学院』を研究対象とすることが可能になりました。

京都造形芸術大学雑誌編集セミナーに参加させていただき、雑誌の編集工程を伺い、とても勉強させていただきました。

皆様に心より感謝申し上げます。

付録1.

表6. 言及分野と雑誌文化記事のコラム名の対照表

言及分野	コラム名（常態化コラム名）
中国の今	時流（时流）、今日の中国（当代中国）、中国ライフスタイル（中国风尚）
伝統	文化博覧（文化博覧）、文化チャンネル（文化頻道）、文化万華鏡（多彩文化）、世界遺産、説古論今、少数民族
地域	中国を歩く（漫歩中国、畅游中国、）
飲食	中国の味（中国味道、华夏美食）
絆	窓（窗）、域外传真、今号の顔（本期人物）、教員広場（教师广场）

付録2. 吉島茂・大橋理枝 他(訳・編) (2004) 『外国語教育II-外国語学習, 教授, 評価のためのヨーロッパ共通参照枠』 朝日出版社 (5.1.1.2) 社会文化的知識

1.日常生活に関する事柄、例えば:

1-1 食べ物や飲み物、食事の時間、食卓での作法

1-2 公的祝日・勤務時間と仕事のやり方

1-3 余暇の活動(趣味、スポーツ、読書習慣、メディア)

2.住環境、例えば:

2-1 生活水準(地域的、階級的、民族的な違いも含む) 2-2 住宅環境

2-3 福祉政策

3. 対人関係(権力関係や協調関係も含む)、例えば次のようなもの: 3-1 社会の中の階級構成や階級間の関係

3-2 異性間の関係(ジェンダー、親密さ)

3-3 家族構成や家族内での人間関係

3-4 世代間の関係

3-5 職場の人間関係

3-6 一般市民と警察や公務員との関係 3-7 人種や地域間の関係

3-8 政治的および宗教的な集団間の関係

4. 以下の事柄に対する価値観、信条、態度:

4-1 社会階級

4-2 職業的な集団(学者、経営者、公務員、技術者、労働者)

4-3 財産(収入および相続)

4-4 地域文化

4-5 治安

4-6 制度

4-7 伝統と社会変革

4-8 歴史、特に、歴史上重要な人物や出来事

4-9 少数集団(民族的、宗教的)

4-10 国民意識

4-11 外国、外国人

4-12 政治

4-13 芸術(音楽、造形芸術、文学、演劇、ポピュラー音楽や歌) 4-14 宗教

4-15 ユーモア

5. 身体言語 身体言語の使い方の慣習に関する知識は、言語使用者/学習者の社会文化的能力の一部を形成する。

6. 社会的慣習、例えばもてなしたり、もてなされたりするとき、以下の点:

6-1 時間に対する正確さ

6-2 贈り物

6-3 服装

6-4 飲み物、酒、食事

6-5 行動および会話における慣習とタブー 6-6 滞在時間

6-7 いとまぎいの挨拶

7. 儀式時の立ち居振る舞い

7-1 宗教的行事と儀式

7-2 誕生、結婚、死

7-3 公演や式典での観客や見物人の行動 7-4 祝典、祭り、舞踏、ディスコ、など

付録3. 雑誌『孔子学院』文化記事 言及分野内容まとめ（言語版別）

(1)、「1.中国の今」

中日版 「11.中国人」－「12.中国産業」－「13.中国社会」順

中国の若者	現代中国若者たちの結婚観（2010,1） 中国人青年のマイホームの夢（2011,7） 中国若者の就職事情シリーズ（2016,37） ギャップ・イヤー、卒業後の選択肢（2016,38）
中国のお年寄り	中国の高齢者の生活ぶり（2010,2）
群像	中国人の余暇生活（2010,1） 中国人の読書時代（2010,3） ゴールデンウィーク-中国人の休暇（2012,14） 都会人の最愛－コーヒー・スローライフ（2014,23） 大都会の農民（2014,26） 食事の健康志向（2015,30） 休暇は海外へ（2015,30）
特定の人々	サラリーマンのお昼事情（2015,30） 創客（2015,35）
代表産業	自転車王国から自動車の時代へ（2011,8） 中国鉄道発展の黄金期（2015,28）
IT技術とネットビジネス（新たなイノベーション）	中国のネットショッピング（2013,18） 中国実店舗書店の華麗なる逆襲（2014,24） 馬雲の「アリババ・ミラクル」と中国IT業界の繁栄（2014,27） ネットビジネスシリーズ：拡大しつつあるネットショップ；スマートフォンの普及とWi-Fi；コミュニケーションツールの進化－QQと微信、配車アプリ；外出時の大革命（2015,31） 「インターネット金融」の神秘のベールをはぐ（2015,33） 海外代理購入（2016,34） 今流行りのQRコード、どれだけ知っている？（2016,37）
産業全体に関する見方	中国には本当に「匠の心」が欠けているのか（2016,36）

話題	慈善 (2011,4) 「高考」事情シリーズ (2012,13) 3.7 - 中国の「女子の日」 (2014,23)
政策	「婚姻法」司法解釈 - いしを投じて荒波を起こす (2011,9)
社会の全体像	中国ライフの今 - 東京・中国映画週間の都市をテーマにした映画 (2014,27) 現代中国における雷鋒の精神 (2012,12)
現代芸術・趣味	中国現代芸術を発見 (2015,29) なぜ中国で民謡が流行しているのか? (2017,41)
環境意識	低炭素時代: 行動で未来を創造する (2015,30)

中タイ版 「11.中国人」 - 「12.中国産業」 - 「13.中国社会」順

中国の若者	現代中国若者たちの結婚観 (2010,3) 中国人青年のマイホームの夢(7) 中国若者の消費観 (17)
中国のお年寄り	中国の高齢者の生活ぶり (2011,5)
特殊	体不自由な人々の生活ぶり (22) 中国で特殊な体力労働者たち (24)
群像	中国人の余暇生活 (2011,4) 中国人の読書時代 (2011,5) ゴールデンウィーク-中国人の休暇 (15) 中国人の文化消費 - オペラ鑑賞 (17) 中国人の中国ドリーム (18) 中国人の出かける時に選べる交通手段 (34)

代表産業	自転車王国から自動車の時代へ (6) 中国高速鉄道発展の黄金期 (2015,28) 中国の宇宙航空業 (40)
文化産業・ファッション・エンタメ	中国映画産業の発展と展望 (25) タレントショー (19) 国際ファッションショーの中での中国デザイン (37)
ネット産業	第二回世界インターネット大会 (36) 通信大手のHuaweiのタイで子会社を設立 (36) デジタル時代の読書革命 (39) ネットショッピング (13)
話題	2010年上海万博 (2010,1) 青奥会(26) APECサミット (27) 軍事パレード (32)
政策	中国式の民主ー中国両会 (23) 一人っ子政策と「単独二胎」政策 (35)

中露版 「11.中国人」－「12.中国産業」－「13.中国社会」順

群像	中国人の余暇生活 (2010,1) ゴールデンウィーク 中国人の休暇 (2012,14)
お年寄り	中国の高齢者の生活ぶり (2010,2) 定年退職後の中国人の生活ぶり (2016,39)
若者	中国人青年のマイホームの夢 (2011,7) 中国若者たちの消費観 (2014,22)
特定の人々	独身男女の結婚難 (2013,19)

ネットビジネス	web2.0(2013,21) ネット配車（2014、25） IT大手アリババのロシア支社（2016、38）
文化産業・エンタメ	中国製造から中国デザインへ（2014、24） タレントショーブーム（2013,20）
政策	「婚姻法」司法解釈一いしを投じて荒波を起こす（2011、9）
社会精神	中国における雷鋒の精神（12）
	ビッグデータが中国社会にもたらす変化（2014、23）

中阿版 「11.中国人」－「12.中国産業」－「13.中国社会」順

群像	中国人の読書時代（2010,3） 中国人の余暇生活（2011,8） 中国人の現在の健康志向（2016,35） 現代中国人の金銭観念（2015,29） 中国人のフィットネスブーム（全民健身）（2016,34）
お年寄り	中国の高齢者の生活ぶり（2011,4）
若者	中国人青年のマイホームの夢（2011,6） 現代中国若者たちの結婚観（2011,7）
特定	大学生の就職シーズン（2016,35） 中国大都市で出世をしようとする人々（2015,32）

代表産業	<p>自転車王国から自動車の時代へ (2011,8)</p> <p>世界で注目となる中国の自動車産業 (2014, 23)</p> <p>中国高速鉄道の発展 (2015,28)</p> <p>中国の現代航空業 (2017,40)</p> <p>中国電動自動車の将来 (2017,40)</p>
ネットビジネス・ハイテック	<p>中国のネットショッピング (2011,7)</p> <p>中国のハイテックがアラビア世界への導入(2013,18)</p>
	<p>中国の資源の現状と展望(2014,26)</p> <p>中国とイジプトの経済関係の発展 (2016.38)</p>
文化・エンタメ	<p>音楽産業 (2016,39)</p> <p>以品牌建设提升文化产业之路 (36)</p> <p>中国国産テレビドラマの繁栄期 (2017,42)</p> <p>マイクロフィルムの勃興 (2014,23)</p> <p>中国テレビドラマが好調な今 (2013,21)</p>
イノベーション	<p>偽物大国からイノベーション国へ (2017,40)</p> <p>中国の自然環境を意識した地域デザイン (2017,40)</p>
	<p>低炭素時代:行動で未来を創造する (2010,2)</p> <p>中国人の水資源節約術 (2015,31)</p>
イベント	<p>中国ニューイヤーガーラ (2011,5)</p>
ネット生活	<p>中国のつぶやきブログ”weibo”の時代 (2012,10)</p> <p>中国のネット文学 (2013,16)</p> <p><u>インターネットがもたらした中国人のワークスタイルの変化 (2015,32)</u></p>

	<p>中国で巻き起こした国学ブーム (2013,18)</p> <p>中国で巻き起こしたペットブーム (2013,19)</p> <p>中国で人気となるバラエティー番組 (2013,20)</p> <p>中国で巻き起こした海外留学ブーム (2014,26)</p> <p>現代中国のコレクションブーム (2015,30)</p> <p>中国青少年の塾ブーム (2015,33)</p>
	<p>住民が一番幸せだと感じる中国の都市ランキング (2012,11)</p> <p>中国都市住民の住宅環境の変化－閉鎖式からスマートへ (2016,37) ,</p>
話題	中国子供に対する家庭教育の様々 (2015,33)
	<p>中国文学が80後に突入 (中国文学进入“80后”时代) (2014,24) ,</p> <p>中国大学のネットオープンクラス (大学网络公开课) (2014,25)</p> <p>中国での春節帰省ラッシュ (中国人春节回家潮) (2014,22)</p>

中韓版 「11.中国人」－「12.中国産業」－「13.中国社会」順

群像	<p>中国人の余暇生活 (2010,1)</p> <p>中国人の読書時代 (2010,3)</p> <p>ゴールデンウィーク-中国人の休暇 (2012,14)</p> <p>中国人の中国ドリーム (18)</p>
若者	中国人青年のマイホームの夢 (2011,7)
お年寄り	中国の高齢者の生活ぶり (2010,2)
特定	<p>若者のポエラの夢 (32)</p> <p>soho一族 (21)</p>

代表産業	自転車王国から自動車の時代へ (2011,6)
全体 (貿易)	中国の列車で义乌からロンドンへ (40) 珠港澳大橋 (38)
話題	2010上海万博 (2010,1) 慈善 (3) 創業ブーム (31) 冬オリンピック (32)
政策	「婚姻法」司法解釈ーいしを投じて荒波を起こす (2011,9) 医療改革 (15) 两会ー中国式民主 (23) 一带一路 (26)
趣味	書店 (37) 博物館見学 (30) 北京音楽祭 (24) タレントショー (19) テレビドラマ (37) スポーツ観戦 (36)
社会精神	中国における雷鋒の精神 (18) 家族観念 (29)

中仏版 「11.中国人」－「12.中国産業」－「13.中国社会」順

群像	中国人の読書 (33)
若者	現代中国若者たちの結婚観 (2010,3) 現代中国人の恋愛観 (13) 中国若者たちの消費観 (2014,22)
お年寄り	中国の高齢者の生活ぶり (2010,2) 中国人の定年退職後生活 (37)
特定	中国現代芸術の有力者ー四川出身の芸術家たち

代表産業	自転車王国から自動車の時代へ (2011,8)
文化市場	芸術品市場の現状 (14) 現代芸術の代表—嶺南畫派 (31) 正月映画市場の繁栄 (10)
貿易	上海自由貿易区 (24) 中国にあるフランスの車 (20)
全体像	中国製から中国デザインへ (23)

ブーム	ネットショーピング (6) コレクションブーム (9)
伝統の現代変容	春節の今 (4)
趣味	烏鎮オペラ祭 (36) cosplay (19) デジタル時代の文学作品の鑑賞 (33) 豊かな娯楽番組 (16)

中英版 「11.中国人」－「12.中国産業」－「13.中国社会」順

若者	現代中国若者たちの結婚観 (2011,7) 中国人青年のマイホームの夢 (2011,7)
お年寄り	中国の高齢者の生活ぶり (2010,2)
群像	中国人の余暇生活 (2010,1) 中国人の読書 (11) ゴールデンウィーク-中国人の休暇 (22)
特定	中国のごく普通のご一家の60年の変化 (4) soho一族 (29)

代表産業	自転車王国から自動車の時代へ (2011,8)
全般	中国のマクロ経済の現状 (46)
経済政策	アジア投資銀行 (47) 一帯一路 (34) 創業ブーム (39)

話題	2010上海万博（2010、1） 低炭素時代:行動で未来を創造する（8） 慈善（11） 高考（21） 中国の教育事情（45） 冬オリンピック（40）
政策	「婚姻法」司法解釈－いしを投じて荒波を起こす(17) 医療改革（23） 两会－中国式民主（23） 中国ドリーム（26）
	中国における雷鋒の精神（20） 中国交通インフラの変遷（39、40）
趣味	オペラ鑑賞ブーム（25） 北京音楽祭（32）
	光盤行動（33）

中伊版 「11.中国人」－「12.中国産業」－「13.中国社会」順

若者	若者たちのオペラの夢を追う（11）
話題	2022年中国冬オリンピック（11） 中国とイタリアの教育現状（10）
政策	一带一路（13）
趣味	サッカーの夢（14） 北京の現代芸術（4）

中西版 「11.中国人」－「12.中国産業」－「13.中国社会」順

群像	中国人の余暇生活（2010,1） 現代中国人の健康生活（14） 中国人の家族観念（34） 結婚風俗の変遷（32） 中秋節（2）
若者	現代中国若者たちの結婚観（2011,7）
お年寄り	中国の高齢者の生活ぶり（2010,2）

貿易	広州交易会（12）
	中国のビジネスチャンスと挑戦（11）

話題	2010上海万博（2010、1） 中国サッカーとスペイン出身監督（8）
----	--

中独版 「11.中国人」－「12.中国産業」－「13.中国社会」順

お年寄り	中国の老人ホーム（16）
------	--------------

	Industry4.0の波にのるある中独（15） 中国産業自動化（15）
	中国のファッション業界（17）
	ドイツが一带一路戦略の中での位置付け（13）
	サイクリングシェアビジネス（2） 中国の団体購入ウェブサイト（8） 中国のワイン産業とワイン市場（10）
	無人配達（9） シェアオフィス（14）

	中国の教育制度と試験制度（１９）
	中国のSlow Foodブーム（２） 中国の海外旅行ブーム（５） 中国のペットブーム（２０） 中国にあるロボットレストラン（１）
	中国のマッドサッカー（８）
	中国の都市化（３） PM2.5通知アプリ（２）
	デジタル時代の読書（１） weibo時代（３） Wechat（８）
	小学生の中国伝統教養習得（９）

中葡版 「11.中国人」－「12.中国産業」－「13.中国社会」順

群像	中国人の余暇生活（2010,1）
特定	SOHO一族（２）

中心	自転車王国から自動車の時代へ（５）
IT	中国のO2O経済の発展（１６） 中国のフィンテック（１９）

群像	結婚風俗の変遷（８）
趣味	養生（漢方の健康を保つ方法）（１０） 北京音楽祭（３）
	中国サッカーはいつ強くなる？（１４）中国人のサッカーに対する情熱
	中国の街頭ファッション（２０）

(2)、 「2.伝統」

中日版

* 伝統

- ・ 祝日 (民俗) : 中秋節 (2014, 9) ; 春節— 大晦日・新年の風物詩 (2014,1) ; 中国の「太陽の誕生日」— 冬至 (2016,35) ; 中国の「お盆」— 清明節 (2014,3)、端午節(2014,5)
- ・ 芸術 (音楽、造形、文学、演劇など) : 人類無形文化遺産シリーズ—花児 (2010,11) 、中国の書道(2011,5)、シルクの過去と現在(2011,5)、中国映画100年(2011,7)、龍門石窟人類の無形文化遺産シリーズ—昆曲(2011,7)、中国古来のパフォーマンス芸術—雑技；春の花王—牡丹；囲碁—古い歴史を持つ知恵(2011,9)、磁器(2012,10)、水墨画(2012,3)、中国最古の「電影」影絵芝居(2012,3)、太極拳(2012,7)、川劇の妙技—「変臉」(2013,5)、碁の美しさ(2013,11)、桜の姉妹— 桃の花 ;中国四大書院 (2014, 7) 、賈樟柯の映画 (2016,35)、中国の「マイクロ映画」について (2017,41) 、 关雎 (2010,3) , 论语中的学习方法—孔子谈学习态度 (2011,4) , 孔子谈个人修养—论语二则 (2011,5) , 两小儿辩日 (2011,6) , 揠苗助长 (2011,7) , 报任安书 (2011,8) , 陋室铭 (2011,9) , 荀子・劝学篇 (2012,10) , 自相矛盾 (2012,12) , 史记・秦始皇本纪 (2012,14) , 史记・陈涉世家 (2012,15) , 史记・项羽本纪 (2013,17) , 晏子使楚 (2013,18)
- ・ 少数民族 : ワ族(佤族) (2015,30) 、ブイ族(西南布依) (2015,31) 、トン族文化(侗族) (2015,32) 白族 (2015,33) 、客家の風采 (2017,42)
- ・ 価値観・信条 (国民意識) : ドラマ : 『琅琊榜』—家と国と天下 (2016,37)
- ・ 歴史 (歴史人物や重要な出来事) : 0
- ・ 礼儀 : 0
- ・ 信仰 : 0

中タイ版

- ・祝日（民俗）：七夕:中国的“情人节”（2010,1）、春节（2011,5）、迎春习俗（2014,23）、新式中国年（2010,2）、庙会（2016,35）、
- ・芸術（音楽、造形、文学、演劇など）：传统服饰—旗袍（2012,13）、兵马俑（2013,16）、景泰蓝（2014,24）、徽派建筑（2016,34）、海派旗袍;中国四大名锦（2016,37）、满族服饰（2015,31）、中国电影百年史（2011,8）、电影 [秦俑]（2010,2）、歌曲 [美丽的神话]（2010,2）、[关雎]、剪纸（2010,3）、篆刻（2011,4）、书法—楷书（2011,7）、毛笔和洗笔（2011,8）、墨与墨盒（2011,9）、宣纸及镇纸（2012,10）、书房、水墨画（2012,11）、书法（2012,14）、水浒传（2013,18）、绛州鼓乐（2013,20）、南音（2013,21）、浴马图（2014,23）、电影 [海洋天堂]（2014,24）、电影 [孔子]（2014,26）、窗花（2015,28）、2015年中国“贺岁片”（2015,29）、中国电影的“青春之风”（2015,30）、中国科幻电影（2015,32）、电影狼图腾（2015,33）、汉族服装演变（2016,37）、西苑奇葩—昆曲（2011,7）、古代诗人的咏月情结(2014,26)、司母戊鼎（2014,26）、甲骨文（2014,25）、中国古代帝王的山水理想（2015,30）、琉璃之乡的琉璃故事；;中国特色民居（2016,38）、围棋（2012,10）、皮影戏（2012,12）、
- ・少数民族：蒙古族文化（2015,33）、苗服（2015,32）、蒙古服饰（2015,33）、
- ・歴史（歴史人物や重要な出来事）：回望中原十九年，苏武留胡节不辱（2015,28）、孔子（2010,1）、孟子（2010,3）、老子（2011,4）、庄子（2011,5）、兵圣孙武（2011,6）、屈原（2011,7）、史圣司马迁（2011,8）、王阳明（2011,9）、荀子（2012,10）、韩非子（2012,12）、秦始皇（2012,14）、墨子（2012,15）、莫言（2013,16）、晏子（2013,18）、诸葛亮（2013,19）、玄奘大师（2013,21）、张衡（2014,22）、蔡伦（2014,23）、李清照（2014,24）、叶问（2014,25）、郑和（2014,27）、王安石（2015,28）、汉武帝刘彻（2015,29）、老舍（2015,31）、沈从文（2015,32）、李四光（2015,33）、詹天佑（2016,34）、六小龄童（2016,35）、梁思成林徽因（2016,38）、孙家栋（2017,40）、徽商（2012,12）、雕版印刷（2012,15）、丝绸的前世今生（2012,14）、茶马古道前世今生（2014,27）、书的载体—甲骨、竹简、纸（2016,39）、中国稻作文明（2015,32）、中国印刷术（2010、2）、会呼吸的房子—中国建筑的木结构营造（2011,8）、中国古今信息传播方式的变迁、（2016,36）、中国教育的演变（2016,9）、探月工程和背后的文化故事（2017,40）、北京四合院（2015,28）、科举（2016、3）、最早的足球运动—蹴鞠（2014,25）
- ・礼儀：中国人称呼的由来及演变（2010,1）、
- ・価値観・信条（国民意識）：雷锋精神在中国（2012,12）、中国人的安土重迁观念（2016、38）、阅读经典（2013,21）、“天人合一”的重视居住理念（2016,38）、中医中药（2011,6）、养生（2013,18）、
- ・信仰：四大神兽；神话传说（2010,2）、中国的“羊”文化（2015,29）、龙年话龙（2012,11）、生肖文化（2016,35）、

中韓版

- ・祝日（民俗）：七夕（1），
- ・芸術（音楽、造形、文学、演劇など）：人類非物质文化遗产－花儿（3），中国书法（5），瓷器（6），中国电影百年（8），围棋（9），水墨画（11），茶文化（12），兵马俑（15），篆刻（33），江南文学（38），景泰蓝（23），中国漆器（25），旗袍（26），剪纸（2），丝绸（5），篆刻（9），皮影戏（12），绛州鼓乐（15），南音（21），昆曲（7），牡丹（6），*图书推荐：百年夫妻（34），怀旧上海（35），晓晓音符抚慰我受伤的心（36），琅琊榜小说（37），四川美食（38），我们恋爱60年（39），画猫梦唐（40），*文学之窗：曹操－龟虽寿（36），孟浩然－夏日南亭怀辛大（37），唐代诗人王维－九月九日忆山东兄弟（38），唐代文人柳宗元和江雪（39），柳宗元－元日（40），中国建筑的“木结构营造”（8），
- ・少数民族：0
- ・歴史（歴史人物や歴史上重要な出来事）：汉代（35），茶马古道（19），中国造纸术（13），
- ・礼儀：筷子（24）
- ・価値観・信条（国民意識）：养生（19），针灸（17），
- ・信仰：生肖－猴（34），生肖－鸡（40），龙年华龙（11），

中露版

・祝日（民俗）：0

・芸術（音楽、造形、文学、演劇など）：三教与中国文化、李白全集（1）、汉学家的参考文献：学习汉语和中华文化的指南、王安忆（2）、中国古代诗歌赏析（3）、东方学概论、上海的法国城—译自中国作家陈丹燕（4）、李白—静夜思、仪式的完成—苏童、21世纪中国文学作品选集 第四十三页（5）、中国民俗学及文学研究、中国建筑艺术 导读、十一五至十二五期间的中国电影、冯骥才（6）、余华阑尾、李商隐无题（7）、林语堂吾国与吾民、纪念鲁迅诞辰130周年—聪明人和傻子和奴才、苏轼简介（8）、汉语在中国内外、陈村（9）、详解唐代刑律制度、莫言及其文学作品（10）、中国电影：辛亥革命、亚金甫神父的〔第一本画册〕、李白—客中作（11）、中国电影：失恋33天、中国民俗画里的清朝的北京、王蒙（12）、外国人京剧欣赏入门、刘震云及作品（13）、中国电影：画皮、中国冥界的鬼神—学术参考书、李白诗、萧红及其作品（14）、郭沫若与陶行知、中国电影：搜索、莫言—酒国（俄译本）、莫言—白狗仔秋千架（15）、1898年克列缅次的吐鲁番考察团、中国小说边城、老舍（16）、一代宗师和叶问之终极一战、史铁生及作品（17）、李小龙的好莱坞传奇（18）、莫言—丰乳肥臀、韩少功及其作品、（19）、专访中国交响乐女指挥家郑小瑛、吉狄马加及其作品（21）、李连杰—从功夫之王到太极禅、刘恒贫嘴张大民的幸福生活（22）、剧作家高则诚简介（23）、毕飞宇 青衣（24）、蒋峰〔守法公民〕（25）、吴梅村和〔圆圆曲〕（26）、天津盐水沽的金牛传说、欧热今〔孔夫子：一个人，一名政治家，一位老师、欧阳黔森作品（27）、可热诺夫—北京五游、王刚—英格力士（28）、铁凝—笨花（29）、何建明—落泪是金（30）、李铁根—画家，教师，汉学家、中国电影：心花路放、刘震云—我不是潘金莲、潘晓平（31）、史铁生—我与地坛（32）、中国电影：烈日灼心、麦加—暗算、（33）、余华—活着、刘震云—手机（34）、冯骥才—一百个人的十年（35）茅盾—春蚕（37）、王鲁彦—灯、鲁迅（38）、朱自清—背影（39）

・少数民族：土家族（16），满族（17），纳西族（20），傣族（23），苗族（27）

・歴史（歴史人物や歴史上の出来事）：0

・礼儀：0

・価値観・信条：0

・信仰：0

中阿版

· 祝日（民俗）：农历（11）、端午节（12）、元旦（16），春节（4），春节习俗古今（10），七夕古今（13）、重阳节（33），庙会（17），新式中国年（41），

· 芸術（音楽、造形、文学、演劇など）：花儿（3），贺岁电影（10），中国画，中国电影百年（12），中国刺绣（14），皮影戏（18），脸谱，川剧变脸（18），电影 {北京遇上西雅图}（19），电影中国合伙人（21），杂技（21），微电影（23），园林艺术（24），中国80后文学（24），中国青春电影（24），美食纪录片—舌尖上的中国（26），冰雕（28），乔家大院（29），电影筑梦2008（34），中英合拍纪录片“孔子”（36），中国曲艺（39），秦腔（39），电影“秦俑”（41），中国武侠电影中的传统文化，七月与安生（42），*文学：王维—竹里馆（6），逢雪宿芙蓉山主人（7），静夜思（8），春望（9），春节古诗（10），关雎（10），蒹葭（11），上邪（12），再别康桥（13），我爱这土地（14），红楼梦，王维诗（15），桃夭（16），春节看花市—林伯渠（17），诗经（19），题破山寺后禅院（21），诗经·木瓜（22），等太白峰—李白（23），剪纸（2），传统服饰（4），中国书法（5），瓷器（7），中国结（19），年画（22），京剧（9），中国雪文化（21），中国玉文化（22），印章文化（24），武术（11），丝绸（5）、舞狮（11），中国建筑（10），中国传统工艺品三绝中国民居（14），丝绸诞生记（25），岁寒三友（28），

· 少数民族：回族（10），维吾尔族（11），蒙古族（12），满族（13），中国少数民族的春节习俗（17），

· 歴史（歴史人物や歴史上の出来事）：中国古代发明（6），中国四大书院（26），印刷术，汉字（16），古代四大美女（17），中国商帮与商业文化，票号—现代银行的始祖（29）、纪录片丝路（25），算盘（23），指南针（24），黄帝内经（35）、中华老字号（29）、从蹴鞠到足球（34）、火药（40）

· 礼儀：中国送礼文化，（12），

· 価値観・信条（国民意識）：中国人的姓氏文化（33），中国人的家训（33），学雷锋（17）、筷子（8）、中国人的取名文化（16）、谈中国历代著名的中医及贡献，电视养生节目，中医的元素，黄帝内经，（35）、中医养生，（14）、中国神话传说中的智慧（41）、儒家经典论语（20），

· 信仰：中国风水文化（19），象征吉祥的中国传统饰物（9）、羊的文化内涵（28），十二生肖（6），抓周（11）、春联和门神的传说（17），中国吉祥文化的象征（19），

中仏版

- ・祝日（民俗）：中秋（20），舞龙舞狮（22），春节（28），花市（16），
- ・芸術（音楽、造形、文学、演劇など）：莫言小说创作向读者提出的根本问题（15），武侠小说的前世今生（19），
- 文学艺术：鹿柴（1），文房四宝（1），山行（2），画荷花（2），昆曲（3），古诗江雪（3），逢雪宿芙蓉山主人（4），年画（4），池上（5），帝王书法（5），竹里馆（6），工笔重彩画（7），扬州画派（8），王利丰绘画（9），屏风（11），艺术家张修竹作品—行走在东西方文化之间（12），钟鸣鼎食（14），陈曦漫画（14），山水—王钊画作（15），香事趣谈（16），潘柏林的工艺美术创作（16），步摇之美（18），葛晓弘中国水墨画展（18），中国“默纸”（19），镜子：假面喜剧与京剧的邂逅（20），中国古代青铜器的魅力（21），南京云锦（22），水乡的记忆：沈明义版画（22），兰亭序（23），刘波笔下的魏晋名士（23），风筝（24），花鸟画中的东方注意—陈湘波画作（24），坛城沙画（25），花开敦煌，长沙娜的艺术研究与应用（25），建筑与艺术（26），王钊的庄子（27），草书（27），木版水印（29），国际劳动节电影上的中国影片（29），蜀绣（30），四川艺术家魏言（30），瓦当（32），中国画里的拉罗谢尔（32），连四纸（33），金陵十二钗画册（33），明式家具（34），酥油花—藏族庆新年方式（34），汤显祖戏剧（36），脱胎于戏剧的电影（36），新中式服装（36），中国结（37），汉服（39），剪纸艺术（39），香港贺岁电影（40），书介绍：大自然的回响（2），中国的启示（5），一个中国画家的布列塔尼之旅（6），叶公好龙（8），年月日—中国当代文学（9），阿香游中国（10），表意王国（11），在商言商（15），水浒传（18），射雕英雄传（19），阴和阳—果蔬饮食艺术（22），庭审记录（24），谢阁兰：百年石碑（27），蔡志忠系列漫画（29），房子—保罗安德鲁（31），西游记绘本（36），碑拓漫谈（27），中国戏曲的历史（28），敦煌和中国文化（25），应对无常的艺术（32），西画中用的先行者—郎世宁（16），围棋里的美学思考（18），
- ・少数民族：0
- ・歴史（歴史人物や歴史上の出来事）：汉字五千年（3），史记法文版（33），
- ・礼儀：0
- ・価値観・信条（国民意識）：道家哲学中的人的主体性问题（5），论语的公理化诠释（8），道家故事（26），儒家故事（25），论语和算盘（4），口福（40），
- ・信仰：禅宗（4），龙与传统文化精神（10），中国的蛇文化（17），禅宗故事（23），绘本—仓央嘉措（36），

中英版

- ・祝日（民俗）：春节团圆（7），庙会（43），清明（8），七夕（9），端午节（3）、腊八（7），重阳登高（5），
- ・芸術（音楽、造形、文学、演劇など）：京剧（2），围棋（17），水墨画（19），牡丹（14），昆曲（15），中国建筑
筑的木结构营造（16），篆刻（17），南音（29），景泰蓝（31），中国漆器（33），旗袍（34），绛州鼓乐（23），
剪纸（10），皮影戏－中国最古老的电影（20），中国书法（13），瓷器（14），中国电影百年史（16），太极拳
（22），兵马俑（23），非物质文化遗产－花儿（11），
- ・少数民族：0
- ・歴史（歴史人物や歴史上の出来事）：丝绸的前世今生（13），造纸术（21），中国雕版印刷（22），茶马古道
（27），中国服饰的时代变迁（5），长征－改变世界的传奇（47），文化纪录片－西去东来（44），
- ・礼儀：0
- ・価値観・信条（国民意識）：针灸（25），海上升明月，天涯共此时（4），家书故事－中国人的家观念（43），家书
故事－留恋家书（45），养生（26），
- ・信仰：龙（19），

中伊版

- ・祝日（民俗）：婚俗变迁（6），端午（9），中国春节（13），
- ・芸術（音楽、造形、文学、演劇など）：景泰蓝（6），漆器（8），旗袍（7），南音（7），博物馆（8），诗歌所见
古代中国人的喜怒哀乐（14, 15, 16, 17），
- ・少数民族：0
- ・歴史（歴史人物や歴史上の出来事）：茶马古道（2），
- ・礼儀：0
- ・価値観・信条（国民意識）：家谱－四世同堂：中国人的家庭观念－家书－家国情怀（7），中医（9），
- ・信仰：0

中独版

- ・祝日（民俗）：节气之美（3），
- ・芸術（音楽、造形、文学、演劇など）：蔬果雕刻（1），篆刻（2），舞狮道具的传统工艺（6），孙悟空（12），粤剧传承（18），
- ・少数民族：0
- ・歴史（歴史人物や歴史上の出来事）：中国造纸术（1），
- ・礼儀：0
- ・価値観・信条（国民意識）：0
- ・信仰：0

中西版

- ・祝日（民俗）：春联（16），高跷走兽，锣鼓（30），七夕（1），二十四节气（10），端午节和屈原（30），红色的起源与习俗—少数民族的春节习俗（34），
- ・芸術（音楽、造形、文学、演劇など）：中国画的审美要素（2），中国的虎文化（3），从中国画到环境艺术—中国画的审美—唐山大地震电影（4），中国画中笔法的重要性与多样性—中国表现主义画派代表胡永凯（5），武术（6），影片孔子与电影中的哲学探讨（6），古钱币上的书法演变（7），中国画的用笔技巧—契约华工的创作之路（8），了解中国艺术—唐朝“石榴裙”—玄奘走在丝绸之路（11），唐三彩（11），中国古乐（11），桃花—不带刺的东方玫瑰（12），了解中国艺术二，岭南艺术建筑明珠—陈家祠（12），南国丝竹（12），杨柳青年画，泥人张（13），算盘（14），南京云锦（14），葫芦丝，中国画的审美要素：绘画，诗歌和书法的融合（15），银幕蛇影—了解中国艺术之三从秦朝到两汉（16），水墨画（17），梅兰竹菊（18），二人转（19），中国印章（20），连四纸（36），剪纸（2），蜡染艺术（32），侗族大歌（32），中国古代的丝绸文化（33），色彩（33），编钟（38），王维的艺术（30），清明上河图（25），甲骨文（25），中国京剧（8），界首彩陶（31），黄梅戏（31），笔墨纸砚（31），摄影在中国历史上的诞生与发展（33），川剧变脸（17），香包—中式香水（39），景泰蓝（23），四川蜀锦蜀绣（24），小品（35），中国画的审美要素—空白的重要性（26），敦煌国宝，马踏飞燕（26），象棋（5），杂技（8），围棋（9），旗袍（6），蹴鞠（25），
- ・少数民族：云南少数民族服饰（15），朝鲜族歌舞（19），布依族—石寨里的稻耕族（32），黎族风情（33），渔猎民族（34），满族（35），
- ・歴史（歴史人物や歴史上の出来事）：清末首富胡雪岩（31），赤壁之战（38），中国古代侠客（39），秦始皇兵马俑（11），唐肃宗：有福天子的功与过（37），汉字书写方式古今演变（24），丝绸之路的故事（26），汉朝美女王昭君远嫁北疆故事（28），明代杰出航海家郑和（5），对人类历史影响深远的中国古代发明（3），荔枝与皇妃—绣球（21），孔子（6），生前宫身后陵（35），茶马古道（15），赵国首倡穿胡服骑射（29），文人与酒（40），交子—世界第一张纸币（24），汗血宝马（22），麻将（4），惠安女（20），
- ・礼儀：0
- ・価値観・信条（国民意識）：孔庙孔府孔林（27），中国姓氏追踪（40），“筷子”文化（4），河北—千字文（29），“福”字（28），杭州胡庆余堂—中药中华老字号（18）、中医（9），筷子（16）
- ・信仰：中国第一票—大龙邮票，荧幕龙影，中国神话四条神龙（10），白娘子传说（16），白云观—龙年话龙（10），

中葡版

- ・祝日（民俗）：春节（13），中秋（10），七夕节（15），清明节（19）、立冬（7），清明（2），
- ・芸術（音楽、造形、文学、演劇など）：中国电影百年（2），围棋（2），中国漆器（7），太极拳（4）、中国传统绘画（9），书法艺术（19），旗袍（20），京剧—戏院（17），剪纸（8），诗词：秋宵月下有怀（10），古风·胡关饶风沙（11），孟浩然（14），杜甫（15），白居易（16），柳宗元：江雪（17），太极拳与气功（16），中国园林的元素（9），西游记—孙悟空（13）
- ・少数民族：0
- ・歴史（歴史人物や歴史上の出来事）：郑和与中国的航海大发现（14），茶马古道（3），中国造纸术（2）、足球的起源（14），
- ・礼儀：0
- ・価値観・信条（国民意識）：孝行（19）、筷子文化（8），大熊猫（15）
- ・信仰：0

（3）、「3.地域」

中日版

- ・省・都市：，成都（2014,22），白山黑水—东北（2015,31），潮汕（2014,27），杭州，广州（2015,29），云南（2011,7），安徽（2011,8），北京（2012,12），西昌（2017,40），西安（2013,16），闽和徽（2016,34），
- ・観光名所：张家界（2014,23），梅关古道（2015,30），龙门石窟（2011,9），三山五园（2016、35），蓬莱（2010,2），桂林（2014,26），乌镇（2016,36），江南四大名镇（2016,36），昆明（2013,18）、丽江（2013,19），凤凰（2013,20），，西湖（2014,25），雪景（2011,4），少林寺（2012,11），成都大熊猫繁育基地（2012,13），武当山（2012,14），平遥（2013,17）
- ・少数民族地域：客家土楼（2013,21）、西江苗寨（2015,32）、内モンゴル呼伦贝尔大草原（2015,33）
- ・文化ゾーン：泉州（2013,21）

中タイ版

- ・省・都市：，成都（2014,22），白山黒水－东北（2015,31），潮汕（2014,27），杭州，广州（2015,29），云南（2011,7），安徽（2011,8），北京（2012,12），西昌（2017,40），西安（2013,16），闽和徽（2016,34），
- ・観光名所：张家界（2014,23），梅关古道（2015,30），龙门石窟（2011,9），三山五园（2016、35），蓬莱（2010,2），桂林（2014,26），乌镇（2016,36），江南四大名镇（2016,36），昆明（2013,18）、丽江（2013,19），凤凰（2013,20），，西湖（2014,25），雪景（2011,4），少林寺（2012,11），成都大熊猫繁育基地（2012,13），武当山（2012,14），平遥（2013,17）
- ・少数民族地域：客家土楼（2013,21）、西江苗寨（2015,32）、内モンゴル呼伦贝尔大草原（2015,33）
- ・文化ゾーン：泉州（2013,21）

中韓版

- ・省・都市：看亚运，游广州（3）、武汉（13），十三朝古都－西安（15），
- ・観光名所：哈尔滨冰灯节（4），婺源（6），少林寺（7），莫高窟（17），昆明（19），丽江（19），冰城哈尔滨（34），数字莫高窟（26），拙政园（35），江南水乡（36），杭州茶馆（36），大理（36），江南园林（37），丽江（37），香格里拉（38），敦煌莫高窟（40），龙门石窟（7），滕王阁（20），
- ・少数民族：客家土楼（21），
- ・特定ゾーン：泉州－海上丝绸之路的起点（21），

中露版

- ・省・都市：广州（3）、北京（6），佛山（7），山东（10），澳門（12），武汉（13），苏州（25），杭州（26），贵州（27），厦门（28），南京（30），承德（31），景德镇（32），桂林（33），天津（34）、厦门（39）
- ・観光名所：福建土楼（5），广东开平雕楼（6）、武陵源（8），丽江（9），朱家角（10）、九寨沟与黄龙（11），平遥古城，武当山（14），乐山大佛，黄山（15），长沙，马王堆汉墓－舜帝崀山（16），沈阳，沈阳故宫（17），颐和园，北京（18），莫高窟，兰州（19），峨眉山，七宝古镇（20），泰山（21），杜甫草堂（22），昆明（23），嵩山游记（24），峨眉山（35），南锣鼓巷（37），曲阜（38），
- ・少数民族：西藏，（11）
- 特定ゾーン：0

中阿版

- ・省・都市：上海（11），兰州（16），大连（17），四川（18），长沙（19），北京（3），香港（23），青岛（24），河西走廊（25），冰城哈尔滨（28），山西太原（29），深圳（38），戏曲之乡昆山（39），蓬莱（41），春城昆明（35），杭州（31），
- ・観光名所：成都大熊猫繁育基地（5），福建土楼（7），北京老村落（8），北京胡同（9），万里长城（10），颐和园（14），故宫（15），孔庙（20），曲阜（20），杂技第一乡—吴桥（21），和田（22），婺源（6）、秦始皇陵兵马俑（13），苏州拙政园（24），北京博物馆，四川三星堆（30），徽州（32），桂林山水（33），名士之乡—绍兴（36），北京体育场馆（34），
- ・少数民族：青藏高原（6），
- ・特定ゾーン：中原好菜坞—焦作（42），科技胜地酒泉（40），京杭大运河沿线明珠（31），张家口（34），长寿之乡（13），丝绸之路起点—西安（25），未来的中国风谷—乌鲁木齐（26），

中仏版

- ・省・都市：上海（1），泉州（28），成都（30），广州（40），
- ・観光名所：景德镇（4），北京胡同（4），元阳梯田（5）、庐山（6），武当山（13），平遥（17），四川—大足石刻（18），杜甫草堂（19），甘孜（20），丽江（21），风雅苏州（22），洛水之北，犹记迦蓝（23），江永·上甘棠（24），敦煌（25），西安碑林（27），原乡（30），青城山（30），湘西凤凰（31），博物南京（32），武术之乡—佛山（2），巽底下（7），西塘（9），龙门石窟（10），婺源（12），
- ・少数民族：青藏高原（5），西江苗寨（8），北疆（26），客家土楼（11），
- ・特定ゾーン：

中英版

- ・省・都市：海纳百川上海（8），看亚运，游广州（11），十三朝古都西安（23），武汉（21），
- ・観光名所：杭州西湖（1），成都大熊猫繁育研究基地（13），景德镇（14），婺源（14），龙门石窟（15），少林寺（15），北京胡同（43），北京798（2），滕王阁（28），中国的民居（3）、武当山（22），昆明（26），丽江（27），数字化莫高窟（34），滇西北（47）
- ・少数民族：客家土楼（29），
- ・特定ゾーン：泉州—丝绸之路的起点（29），

中伊版

- ・省・都市：
- ・観光名所：武当山（1），丽江（2），洛阳（3），
- ・少数民族：客家土楼（7）
- ・特定ゾーン：泉州（7），张家口（11）

中独版

- ・省・都市：
- ・観光名所：滕王阁－中国四大名楼（1）、云南（2），三峡大坝（19），茶马古道（20）
- ・少数民族：福建客家土楼（3），西藏－深度了解西藏的社会和文化（18），
- ・特定ゾーン：

中西版

- ・省・都市：西安（11），广州（12），闽南（12），游走天津（13），义乌（18），满洲里（28），哈尔滨（34），世界屋脊的青海省（40），衢州（9），徐家汇的故事（9），泉城济南（27），宁夏－中国长城博物馆－宁夏民居（37），
- ・観光名所：海南岛（4），孔子故乡曲阜（6），北京－天坛（7），瓷都景德镇（7），武术之乡少林寺（9），山西乔家大院（30），中国北极村（34），神农架（38），湘西凤凰（39），橘子洲（39），昆仑山（40），青海湖（40），西递与宏村（31），江西的书院（36），岳麓书院（39），乐山大佛（24），毛峰茶，六尺巷（31），天一阁－私人图书馆（18），长白山（19），龙江（34），少林寺和它的洋弟子们（25），重庆吊脚楼（17），盘锦红海滩（35），江西滕王阁（36），鄱阳湖，孽龙洞（36），庐山（36），北京“798”（21），重庆三峡大坝（17），鼓浪屿－武夷山（20），云南哈尼梯田（20），广西巴马长寿村（21），都江堰（24），大同悬空寺（30），天台山伍龙寺（32），江南贡院（14）五台山（30），道教圣地－武当山（38），诗人笔下的黄鹤楼－苏东坡与黄州（38），大上海的旧梦心声（9），利顺德大饭店（13），泰山（27），蓬莱（27），
- ・少数民族：青藏铁路（40），
- ・特定ゾーン：丝绸之路的心脏－须弥山石窟－塞上江南（37），青藏铁路（40），

中葡版

- ・省・都市：北京（17）、哈尔滨（18）、南京（19）、上海（20）、青島（14）、成都（15）、香港（8）、苏州（9）、杭州—胡庆余堂（10）、武汉（4）、
- ・観光名所：敦煌（13）、丽江（3）、濠江（11）、黄山（16）、
- ・少数民族：0
- ・特定ゾーン：泉州—丝绸之路的起点（2）、

（4）、「4.飲食」

中日版

・食事：

- 地域料理：羊の肉のしゃぶしゃぶ@北京（2013,17）、雲南名物料理「過橋米線」（2013,19）、丹東の新鮮な貝料理（2013,21）、涙ながらに飲む「豆汁」、「まんじゅう」—肉まん（2014,22）、豊富な具材で楽しむ「重湯鍋」無米粥(かゆ)（2014,23）、広州の「朝ヤムチャ」を味わう、おうちで中華—お手軽レシピ プリプリあつあつ海老の蒸し餃子（2014,24）、西安人のハンバーグ ロージャーモー（2014,25）、四川料理の香り、ジュワー ガチョウのロースト@香港（2014,26）、広東の「早茶」文化（2016,35）、蘭州牛肉ラーメン（2016,36）、金華ハム（2016,37）優仔飯—土鍋飯（2016,38）、黃橋燒餅（2016,39）、糖水（2017,41）、唐辛子の百年—四川料理の年月（2017,42）、夏の風物詩—涼皮（2015,31）、記憶の中の中原グルメ（2015,32）、舟山の美食文化（2016,34）、カニ料理文化（2013,16）、
- 祝日料理：大晦日の「団らん飯」;上海食いしん坊ガイド（2015,28）、月餅と最中（2012,14）、
- 中国料理の一般（マナーなど）：中国の飲食文化—ドキュメントリー『舌の上での中国』（2012,12）、食卓を取り囲む奥深き世界—中国の食卓礼儀—（2013,20）、
- 料理比較：日本と中国の餃子（2012,13）、日中の鍋物文化（2012,15）、美味いたこ焼き（2015,30）、
- ・飲み物：中国黄酒のスピリット—紹興花彫（2014、9）、北京前門純情大碗茶—茶館パフォーマンスの愉快な生活（9）、春は茶の季節（12）、茶の郷—龍井村（23）、「功夫茶」の味わい—茶文化における中日の違い（25）、鉄観音（39）、お茶とコーヒー、喫茶の歴史—陸羽と茶道の発展、老舎茶館に見る中国の茶館の変遷（42）

中タイ版

食事：

一地域料理：舌尖上的江南—腌笃鲜（2016,36），东北三宝（2015,31）

一祝日料理：重阳糕（2016,39），

一料理比較：

一中国料理一般：八仙葫芦鸭（2010,2），神州滋味（2010,3），中国的餐饮习俗（2013,20），荔枝肉（2016,34），

飲み物：千年普洱茶（2015,31）

中韓版

食事：

一地域料理：川菜（31），徽菜（32），苏菜（33），中国南北不同饮食文化（39），大酱（40）

一祝日料理：

一料理比較：

一中国料理の一般：华夏滋味—中国美食飘香（2），中国饮食文化（13），中国餐桌礼仪（20），吃中国美食，品中国文化（24），火锅（34），中国菜名的秘密（37），中华美食（35），豆腐（38）

飲み物：中国酒和酒道（4）

中露版

食事：

一地域料理：邯郸豆沫（32），天津早点（34），成都美食（35），天津沙窝萝卜（29），米粉，天津蛤蟆吐蜜（39）、鲁菜味道（25），周村烧饼（38）

一祝日料理：中国北方农村的过年小吃（21），中国人过年吃饺子（27），中国春节食俗（28），

一料理比較：

一中国料理の一般：品味中国菜(红烧茄子)（6）、虾仁豆腐汤（16），香菇鸡肉片（17）、珍珠丸子（18），西红柿鸡蛋汤（19），地三鲜（37），

飲み物：俄罗斯的中国茶热（16）、大红袍（17）、铁观音（18）、龙井（19）、碧螺春（20）、毛峰（21）、盖碗八宝茶（25）、仙人茶（31），乌龙茶（34），苦丁茶（35），白毫银针（37），毛尖（38）、讲授中国茶艺品味中国文化（4）、马连道的茶叶经（10）

中阿版

食事

一地域料理：烤全羊（11），辣兰州拉面（16），徽州红烧划水（32），桂林米粉（33），老北京炒疙瘩（34），武涉油茶（42）、山东葱烧海参（24），羊肉泡馍（25），昆山奥灶面（39），香港饮食（23），腊肠煲仔饭（23），麻辣东安鸡（21），

一祝日料理：春节食俗—饺子（10），粽子（12），年糕（28），

一料理比較：

一中国料理一般：中餐总览（2），西红柿鸡蛋汤（6），酸辣凉拌土豆丝（7），宫保鸡丁（8），土豆烧牛肉（9），烧鲤鱼（14），香菜牛肉丝（15），口水鸡（18），红烧大虾（19），辣味牛肉干（20），八大菜系（21），包子（13），水煮鱼（17），火锅（22），清蒸鱼（26），家常炒面（29），龙井虾仁（31），汽锅鸡（35），虾油浸鸡（36），栗子鸡（37），香炒三黄鸡（38），盐水鸭（40），八鲜葫芦鸭（41）

飲み物：茶馆（5），茶文化（13），

中仏版

食事

一地域料理：潮汕菜（34），粤菜（40），

一祝日料理：年夜饭（4），

一料理比較

一中国料理一般：虾仁豆腐汤（1），香菇鸡肉片（2），珍珠丸子（3），姜葱蒸鱼（4）、西红柿鸡蛋汤（5），酸辣汤（6），醋溜土豆丝（36），黑松露炒蛋（37），芦笋时蔬炒香菇（39），

飲み物：

中英版

食事

一地域料理：鲁菜（33），川菜（39），徽菜（40），苏菜（41），浙江菜（43），早茶（46），

一祝日料理：春节食物（2），

一料理比較：0

一中国料理一般：中国饮食文化（10），中国餐饮习俗（28），吃中国美食，品中华文化（32），龙井虾仁（43），菠萝牛肉粒（45），

飲み物：茶绿春好正当时（20）

中伊版

食事

一地域料理：鲁菜（8），苏菜（11），徽菜（11），冰糖葫芦（19），

一祝日料理

一料理比較

一中国料理一般：中国八大菜系（6），汤圆（18）

飲み物：始于智者之酒（19），

中独版

食事

一地域料理：中国北方美食（1），特色浙江菜（2），广东名菜（3），内蒙古手抓羊排（5），北京街头小吃（18），新疆特色大盘鸡（13），广州早茶（14），凉面（15），湘辣豆腐（9），江苏酒喷炒虾（10），川菜版干煸四季豆（11），

一祝日料理：年糕（6），饺子（12）

一料理比較：

一中国料理一般：猪蹄（7），宫保鸡丁（8），中国老年人介绍自己最青睐的菜谱（16），南瓜牛肉汤（17），口水鸡（19），健康饮食—脆皮鲜虾色拉（20）

飲み物：白茶与红茶（1），中国绿茶（2），乌龙茶（3），普洱茶（5）

中西版

食事

一地域料理：烤鸭（8），天津小吃（13），云南过桥米线（15），浙江菜（18），广西米粉（21），武汉菜（38），湖南菜（39），广州早茶（12），

一祝日料理：春节美食（10），

一料理比較：

一中国料理一般：中国美食（2），驴肉火烧（29），中餐介绍（16），中国人餐桌上的羊肉（28），中餐调味名品—李锦记（23）

飲み物：盖碗八宝（33），品茶（8）

中葡版

食事

一地域料理：鲁菜（14），用辣椒的智慧（15）

一祝日料理：饺子（13），

一料理比較：

一中国料理一般：中国餐桌礼仪（3），街头小吃（17），铁锅（19），中式面条（20），中国饮食文化（8），火锅（15）

飲み物：八宝茶（10），茶文化（9）

(5)、 「5.絆」

中日版

・人物インタビューや紹介：朝陽門外の虹一真の日中友好のためにーノンフィクション作家 山崎朋子氏を訪ねる (2010、2)、矢野浩二インタビュー 「日々向上を目指す」 (2013,20)、日中関係「大事なのは一人ひとり」 小澤征爾さん語る (2014,22)、日本人俳優・木幡竜ー中国に羽ばたく (2014,23)、高倉健はいかにして中国で一つの世代のアイドルとなったのか? (2014,27)、楊貴妃伝説 (2015,30)

・文化交流・比較：「足(脚)」の文化的意味ー日中両言語の表現について (2010、2)、一路歩み続けてきた京劇愛好会「東京票房」 (2011,4)、サブカルチャーを愛する中日若者文化の周辺 編集部特約記者 河瀬藤一 ;漢字の未来 京都大学大学院人間・環境学研究科教授 阿辻哲次 ;漢詩が生まれた風景 桂林 選詩・解説:静岡大学情報学部教授 許山秀樹 ;「儒教」は中国文化の基礎である 早稲田大学文学学術院教授 土田健次郎先生に聞く;日本語由来の中国流行語 日本大学大学院・国際関係学部教授 呉川 (2012,10)、日本人の孫悟空誕生記 ;月見の菓子ー月餅と最中ー日中食文化研究家 池間里代子 (2012,14)、総合医療の時代に再評価される「中医学」 本誌特約記者 河瀬藤一 ;鍋物文化今昔物語 日中食文化研究家 池間里代子 (2012,15)、三国志の真実 ;東京に蘇った王羲之 ;中国サッカーとともに岡田武史さん (2013,16)、外国人の目で外国人被災者を撮った中国人監督 ;日中友好の竹とうろう ;長崎孔子廟 中国の秘宝を展示 ;美しい本「魯迅の言葉」 ドイツのコンクール銀賞 (2013,17)、機関や施設名称から見る近代中日語彙交流 (2013,18)、「社、所」に見られる 近代日本語の受容 (2013,19)、「治水の神」日中の懸け橋 古代中国の王「禹」をたどる (2013,20)、日中韓の囲碁交流 秘史 ;東アジアの架け橋- 箸- ;増える中国の稲盛信者 儲け一辺倒か哲学求める経営者たち (2013,21)、紙上のカンフー“中国書道” (2014,22)、中国の「お盆」ー清明節 ;中国で生まれー日本を通じて グローバルになった盆栽 ;日本の書原風景 蘇軾と黄庭堅の“意”そして大燈国師 ;中国語から日本語に 伝わった「権利」 (2014、23)、笹の葉香る端午節 ;「80年代の日中文化交流記」 下荒地修二晃氏 インタビュー ;「義務」ー日本語から中国語へ (2014、24)、「紅樓夢」に夢中、新訳に1年 丁寧な注、登場人物わかりやすく 井波陵一・京大教授 (2014,25)、四川料理の香りー四方に溢れ出す ;中国歴代皇帝の至宝が初来日 (2014,26)、中国の「太陽の誕生日」ー冬至 (2014,27)、流行語:ひと味違った「草食系男子」暖男 (2015,28)、敦煌で夢を追う ;中国語の中に存在する仏教の要素 (2015,29)、食後に「日本豆」を語る 中日食品文化の「誤解」についての面白い話 (2016,35)、日本の自然信仰と中国の伝統文化;日本人の中国留学概況シリーズ (2017,40)、コーヒーの日中両国での発展 (2017,41)、日本で息づく中医学 シリーズ;日本の大禹信仰 (2017,42)

・華僑・華人・越境民族：

中タイ版

・人物インタビューや紹介：* 诗琳通作品：[静夜思] 译作（2011,4），[春晓]（2011,5），[忆江南]（2011,6），黄鹤楼送孟浩然之广陵（2011,7），[饮酒]（2011,8），[黄鹤楼]（2011,9），江雪（2012,10），山行（2012,11），饮酒（2012,12），归园田居（2012,13），凉州词（2012,15），渡荆门送别（2013,16），渭城曲（2013,17），月夜（2013,18），早发白帝城（2013,19），暮江吟（2013,20），赠别（2013,21），夜雨寄北（2014,22），无题（2014,23），醉花阴，薄雾浓云愁永昼（2014,24），过零丁洋（2014,25），水调歌头，明月几时有（2014,26），清平乐（2014,27），悯农（2015,28），上枢密韩?胄诗二首（2015,29），除嘉峪关感赋（2015,30），沈园二首（2015,31），钗头凤（2015,32），武陵春（2015,33），她的城（2016,34），同（2016,35），同（2016,36），同（2016,37），同（2016,38），同（2017,39），同（2017,40），

诗琳通公主与中国的不解之缘（2010,1），密秉尚·美林塔金达（泰国驻华大使）（2010,3），泰国华文教师公会主席罗宗正（2011,4），致力于汉语推广的泰国华人企业家张锦程（2011,5），泰国华文民校协会主席梁冰女士（2011,6），泰国著名汉学家巴屏·玛努迈威汶博士专访（2011,7），泰国王宫秘书厅副秘书长占塔妮（2011,8），专访泰国枢密院大臣甲森·瓦塔纳猜（2011,9），专访泰国汉学家巴功·林巴努颂（2012,10），专访泰国国家移民局局长帕努·格拉攀中将（2014,22），一位泰国部长的汉语情缘（2014,23），“未来，汉语将是文化交流最重要的工具”——赵困·通猜大师专访（2014,25），泰国驻华大使丘伟文（2014,27），朱拉隆功大学副校长甘拉雅·丁萨帕女亲王专访（2015,28），诗琳通公主办公室主任阿拉雅·波汶纳卡琳夫人（2015,29），泰国驻华大使专访（2015,30），樊希安——中国出版传媒股份有限公司副总经理（2016,39）

・文化交流、比較：* タイの文化風俗：宋干节:泼水祈福贺新年（2010,1），水灯节，酸辣泰餐（2010,3），泰式婚礼（2011,4），泰国的剃度仪式（2011,5），放风筝——中泰两国人民共同爱好（2011,6），泰国入夏节——佛教僧尼雨期禁足安居的节日（2011,7），孔剧（2011,9），

* 中泰文化：从泰国高脚屋和中国傣族竹楼的对比看泰傣文化（2012,11），开脸（2012,15），汉语与泰语亲属称谓以及泛化亲属称谓的文化内涵（2013,16），中泰建交38周年（2013,19），从中国到泰国的潮剧发展（2014,24），陶瓷——海上丝绸之路上的文明使者（2014,27），九皇斋节——源自中国闽南的盛会（2015,28），图腾狮子（2015,29），下南洋之红头船精神（2016,34），西游记在泰国的传播及与泰国名著拉马坚的对比（2016,35），网购，从中国到泰国（2016,36），丝绸之路上的泰丝（2016,37），中泰女性地位漫谈（2016,38），新丝路，新思路——21世纪海上丝绸之路论坛在泰举行（2014,27）

・華僑・華人・越境民族：中秋节，拜月亮（2014,26），华裔详情——传统，传承（2015,31），布傣族（2013,19）

中韓版

- ・人物インタビューや紹介：訪中国驻韩国特命全权大使张鑫森（1），访中韩语言文化交流大使李充阳教授（4），
- ・文化交流、比較：韩中文化差异所引起的交集障碍（5），中华文化的特点（5），韩中文化差异所引起的交际障碍的解决方案（6），陈氏太极在韩国（4）中韩两国最大节日“春节”（3）
- ・華僑・華人・越境民族：韩国大学周边的中国城（4）

中露版

- ・人物インタビューや紹介：梅兰芳在苏联（27）、俄罗斯莫斯科国立语言大学校长哈列耶娃女士（23）、阿里巴巴之父马云（35）
- ・文化交流、比較：论中国当代小说在俄罗斯的传播（2）、首部汉俄词典试编（7）、尼古拉・斯别什涅夫中国人：民族心理特征（8）、汉语学习在俄罗斯（18世纪－20世纪初）问世（13）、俄罗斯的中国电影节、张贤亮（20）、中国青年作家作品选集〔红鞋〕在俄出版（25）、俄罗斯科学院东方古文献研究所历史掠影（28）
- ・華僑・華人・越境民族：0

中阿版

- ・人物インタビューや紹介：跟随伊本・白图泰到中国（15），
- ・文化交流、比較：中埃文明的融合（4），中阿典籍互译（20），从谚语看中阿文化的异同（21），一带一路与中阿－丝绸之路（25），中国和埃及的创世神话（41），中国影视作品走红埃及（42）、中埃双城记－承德避暑山庄与亚历山大蒙塔扎宫之异同（37），中国宝藏的保护与未来（30），
- ・華僑・華人・越境民族：0

中仏版

- ・人物インタビューや紹介：伏尔泰与中国思想家（6），中法文学桥梁巨匠－傅雷（11），弗雷翻译奖得主金龙格（11），法国睿哲的“蝴蝶梦”（21），法国当代韩雪泰斗勒内·艾田甫（26），
- ・文化交流、比較：何一夫－描述法国风光的中国画家（6），中国漫画在法国（7），故宫文物亮相卢浮宫（9），漫谈中法文化差异（9），欧洲第一步连环画：马可波罗中国之旅（9），中国艺术家的巴黎情缘（10）（11），成都到博瓦勒动物园－大熊猫的法国之旅（11），载入蒙达尔纪史册的中国篇章（13, 14），中医针灸在法国（14），战中的华工（15），法国厨星在中国（16），中式服装设计在法国（17），法国中国电影节（18），上海法租界（24），法国建筑师在中国（26），百年女校的中国情缘（32），法国时尚界的中国元素（34），乌镇戏剧节（36），法国阿维尼翁戏剧节中的中国戏剧（36），中法航空百年纪事（21），东方与西方两种龙文化（14），历法中西谈（20），漫画蓝莲花历史背景（24），历史上的“唐僧”（29），汉法双语中国商事法典（21），普瓦提埃国际电影节：聚焦中国（28），法语连环画－三国演义，关羽与亚瑟王（23）、凡尔赛宫的中国风尚（27），六百年昆曲亮相法国（13），法国吉美博物馆茶文化展（15），传统京剧惊艳法兰西（34），从礼遇东方－巴黎亚洲艺术博物馆：白明个展（25）、艺术沟通中法友谊（26），
- ・華僑・華人・越境民族：海外华人概况（12），法国华人三百年（12），
- ・中華価値観の国際化：儒家思想与全球化世界中的新人文主义－从尼山走向世界（12），

中英版－ゼロ

中伊版

- ・人物インタビューや紹介：汉学家兰珊德教授（3），白佐良：从传统到现代的意大利汉学家（4），
- ・文化交流、比較：文心雕龙在意研究现状－专访文心雕龙意大利语版翻译（3）
- ・華僑・華人・越境民族：意大利第二代华人移民的“前世今生”（15），过年时寻根－华侨春节（18），

中独版

- ・人物インタビューや紹介：专访德国著名汉学家顾彬（1），专访“骑行中国”联合创始人盖克思（2），中国探险家（5），何克蒙谈中国电影的产生、发展及当前潮流（7），埃克哈德·克劳琛长叹他在中国当足球教练的经验（8），罗伯托·李本塔尔，中国学者瓦尔特·利本塔尔的孙子讲述他的家族故事（9），王逸舟教授谈当今中国对二战的记忆以及全球介入的重要性（9），朱迪·莱斯纳—怡园葡萄酒庄继承人（10），德国妙得品牌设计总监谈“红色”品牌设计及市场（11），专访德国全球与区域研究中心亚洲研究所马格德博士—中国的“新丝绸之路”（13），冈特·克格尔博士专访—谈德国的第四次工业革命与中国机遇（15），企业家兼艺术收藏家乌利·希克访谈录（15），与时装设计师William Fan就不同文化、亚洲灵感和网上购物的访谈（17），专访克里斯托弗·雷哈格—和十二个中国人游历欧洲（18），
- ・文化交流、比較：0
- ・華僑・華人・越境民族：0

中西版

- ・人物インタビューや紹介：毕加索与两位中国书画大师的机缘（3），多明戈热心扶持中国三大男高音（10），西班牙驻华大使访谈录（12），唐吉柯德的“中国之旅”（35），
- ・文化交流、比較：中西两国建交40周年（21），十七世纪欧洲人眼中的古代中国—马背上的中国故事（22），上海世博会西班牙国家馆（2），从“法雅”节火祭看瓦伦西亚地区文化与中国文化之共同点（5），从向陌生人沟通发问—看中西方的文化差异（4）、巴斯克球（7）中国名剧赵氏孤儿西方流传记（29），中国功夫在西班牙（4），两个世界之间（1），上海世博会哥斯达黎加馆—智利馆—哥伦比亚馆（3），西班牙佳肴飘香中国（11），
- ・華僑・華人・越境民族：0

中葡版

- ・人物インタビューや紹介：当郑和来到圣保罗（14），巴西画家吉尼亚尔与中国（16），
- ・文化交流、比較：澳门葡式金黄马介休（11），
- ・華僑・華人・越境民族：中国民乐队—巴西华人社会（17），针灸—宋南华巴西行医二十载（10）